

第3次遊佐町環境基本計画（案）

～人と自然の共生 持続的な発展が可能な遊佐町の構築～

資料編

町民アンケート結果・用語解説

遊佐町環境に関する町民意向調査【住民】 集計結果

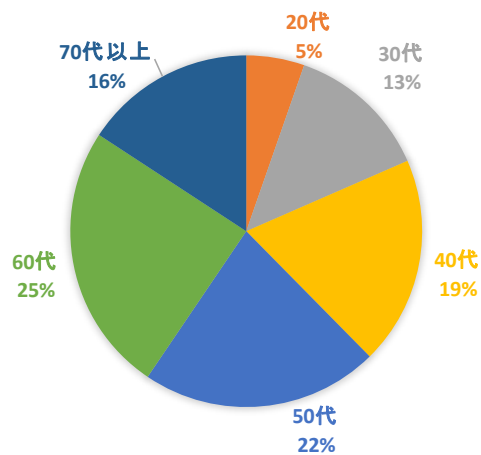
0. アンケート概要

- (1) 対象 18歳以上の遊佐町民 1,000人
- (2) 方法 郵送配布・回答
- (3) 期間 令和4年6月15日（発送）～7月1日（最終締め切り）
- (4) 回収状況 ①発送数：1,000件
 ②転居・回答不能等による返送数：0件
 ③回収数：412件（回答率 41.2%）

1. 回答者属性

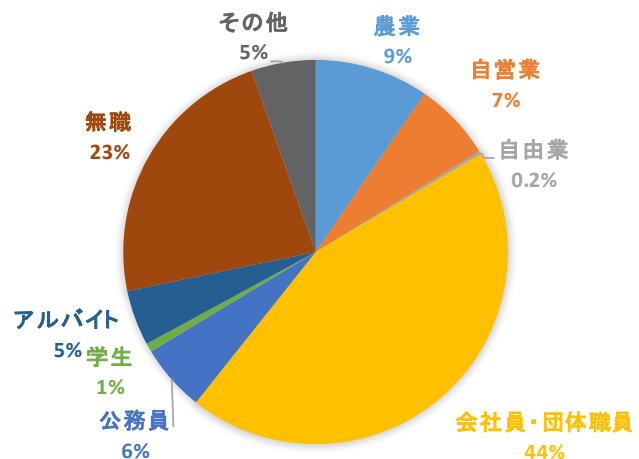
(1) 年代

| | |
|-------|-----|
| 10代 | 0 |
| 20代 | 22 |
| 30代 | 54 |
| 40代 | 79 |
| 50代 | 90 |
| 60代 | 102 |
| 70代以上 | 65 |



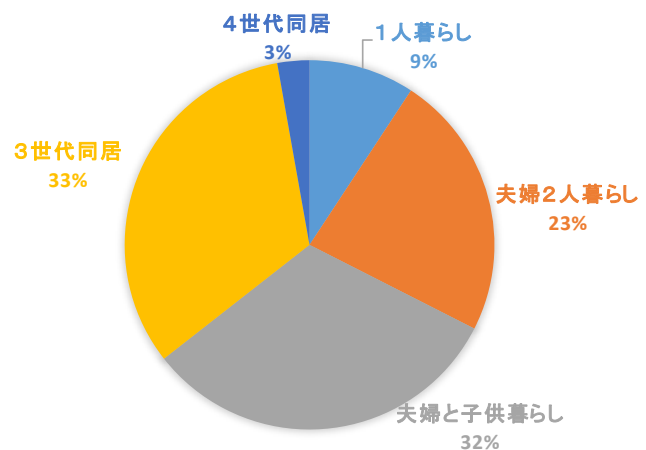
(2) 職業

| | |
|----------|-----|
| 農業 | 39 |
| 自営業 | 27 |
| 自由業 | 1 |
| 会社員・団体職員 | 180 |
| 公務員 | 23 |
| 学生 | 3 |
| アルバイト | 19 |
| 無職 | 93 |
| その他 | 22 |



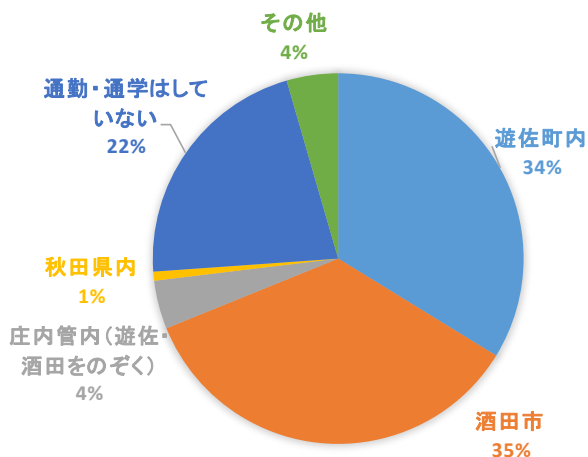
(3) 家族構成

| | |
|----------|-----|
| 1人暮らし | 33 |
| 夫婦2人暮らし | 83 |
| 夫婦と子供暮らし | 114 |
| 3世代同居 | 117 |
| 4世代同居 | 10 |



(4) 通勤・通学先

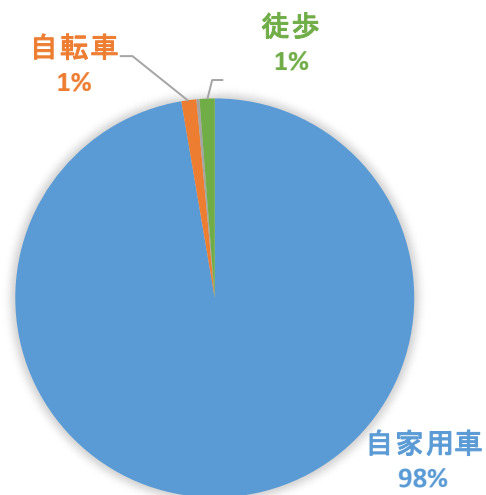
| | |
|-----------------|-----|
| 遊佐町内 | 128 |
| 酒田市 | 133 |
| 庄内管内（遊佐・酒田をのぞく） | 16 |
| 秋田県内 | 3 |
| 通勤・通学はしていない | 82 |
| その他 | 17 |



2. 生活スタイルや環境との関わり方について

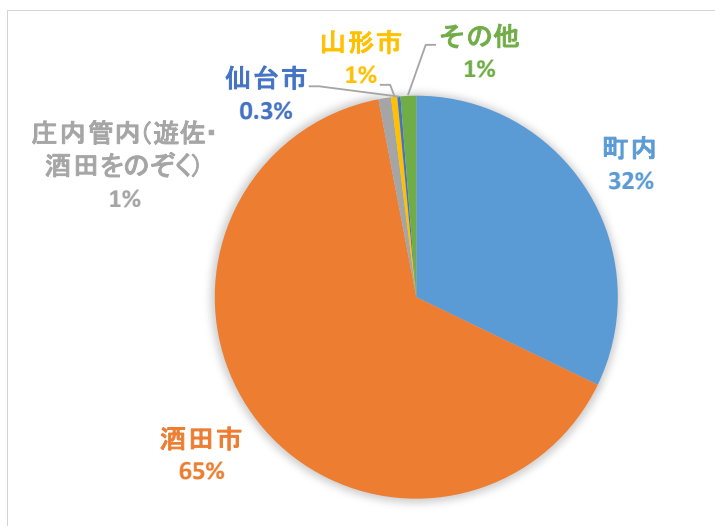
問1. 日常の買い物などに利用する交通手段は何ですか。主なものを1つ選んでください。

| | |
|---------|-----|
| 自家用車 | 399 |
| 自転車 | 5 |
| バス・タクシー | 1 |
| 電車 | 0 |
| オートバイ | 0 |
| 徒歩 | 5 |
| その他 | 0 |



問2. 休日などに主に買い物などに行く場所はどこが多いですか。主な場所を1つ選んでください。

| | |
|-----------------|-----|
| 町内 | 128 |
| 酒田市 | 258 |
| 庄内管内（遊佐・酒田をのぞく） | 4 |
| 山形市 | 2 |
| 仙台市 | 1 |
| その他 | 5 |



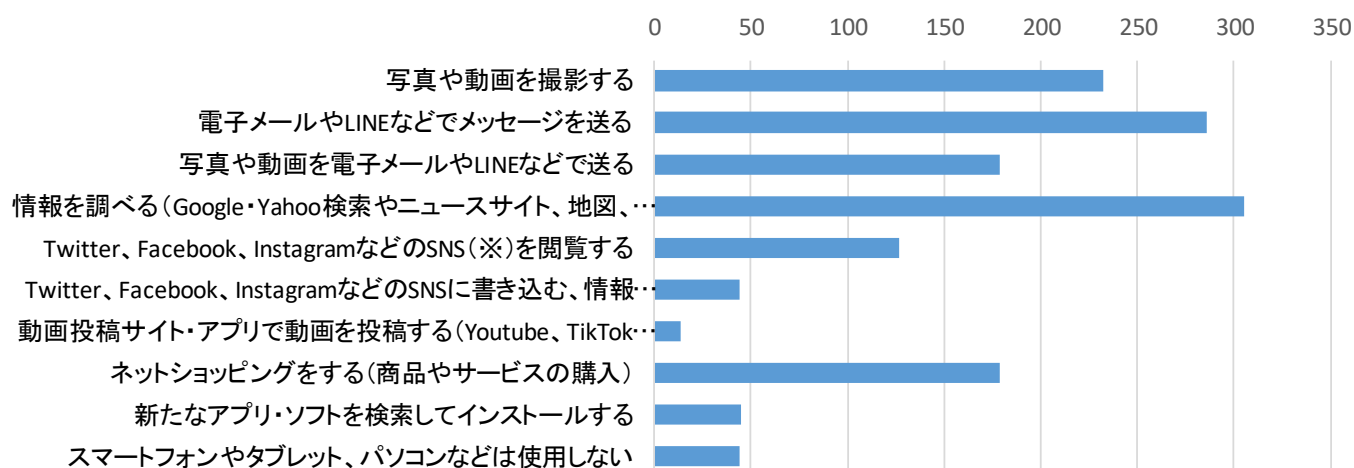
問3. スマートフォンやタブレット、パソコンなどの通信機器を使って、ご自身で日頃されていることは何ですか。(複数回答可)

通信機器の用途として多いのは、「情報を調べる（Google・Yahoo 検索やニュースサイト、地図、天気予報など）」、「電子メールや LINE などメッセージを送る」、「写真や動画を電子メールや LINE など送る」などです。

「Twitter、Facebook、Instagram などの SNS に書き込む、情報発信する」、「動画投稿サイト・アプリで動画を投稿する（Youtube、TikTok など）」といった情報の発信については、利用者が比較的少ないようです。

「スマートフォンやタブレット、パソコンなどは使用しない（通話のみの利用も含む）」のは回答者の11%程度でした。

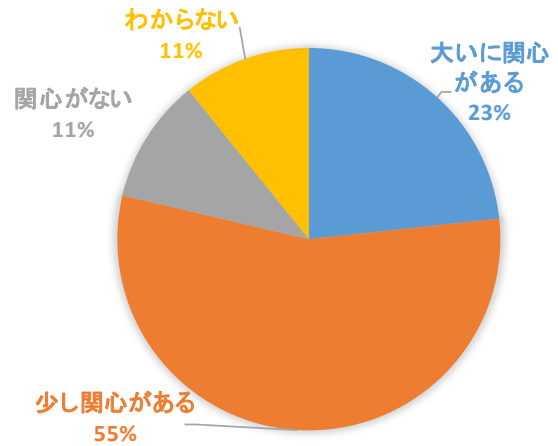
| | |
|--|-----|
| 1. 写真や動画を撮影する | 56% |
| 2. 電子メールや LINE などメッセージを送る | 69% |
| 3. 写真や動画を電子メールや LINE など送る | 43% |
| 4. 情報を調べる（Google・Yahoo 検索やニュースサイト、地図、天気予報など） | 74% |
| 5. Twitter、Facebook、Instagram などの SNS（※）を閲覧する | 31% |
| 6. Twitter、Facebook、Instagram などの SNS に書き込む、情報発信する | 11% |
| 7. 動画投稿サイト・アプリで動画を投稿する（Youtube、TikTok など） | 3% |
| 8. ネットショッピングをする（商品やサービスの購入） | 43% |
| 9. 新たなアプリ・ソフトを検索してインストールする | 11% |
| 10. スマートフォンやタブレット、パソコンなどは使用しない（通話のみの利用も含む） | 11% |



問4. あなたは再生可能エネルギーに関心がありますか

「大いに興味がある」「少し興味がある」を合わせると78%と、多くの住民が再生可能エネルギーに対して興味を持っていることが分かります。

| | |
|----------|-----|
| 大いに興味がある | 95 |
| 少し興味がある | 226 |
| 興味がない | 43 |
| わからない | 44 |



問5. あなたの家に再生可能エネルギー設備を導入していますか。

再生可能エネルギー設備を導入している家庭は8%と少数です。

導入している設備は、太陽光発電（34）、木質バイオマス（薪・ペレットなど、11）でした。

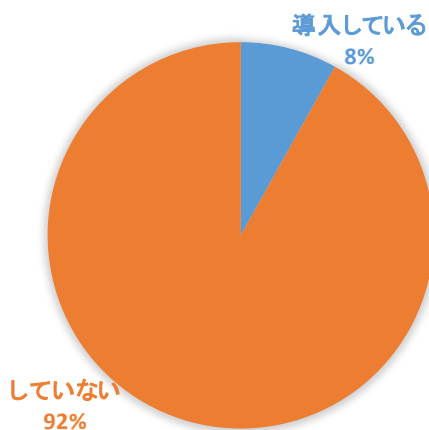
| | |
|---------|-----|
| 導入している | 32 |
| 導入していない | 363 |

問6. 問5で「2. していない」とお答えの方にお尋ねします。今後導入する予定はありますか。

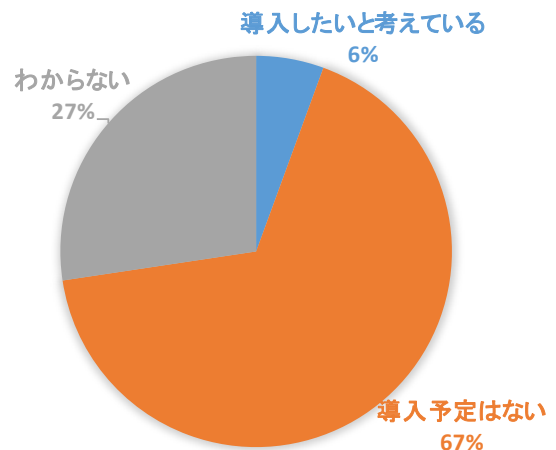
再生可能エネルギーを導入したいと考えている家庭は6%と少数です。十分な情報がなく判断できない（わからない）家庭も多いことがうかがえます。

| | |
|-------------|-----|
| 導入したいと考えている | 20 |
| 導入予定はない | 240 |
| わからない | 98 |

問5 再エネ導入状況



問6 再エネ導入意向

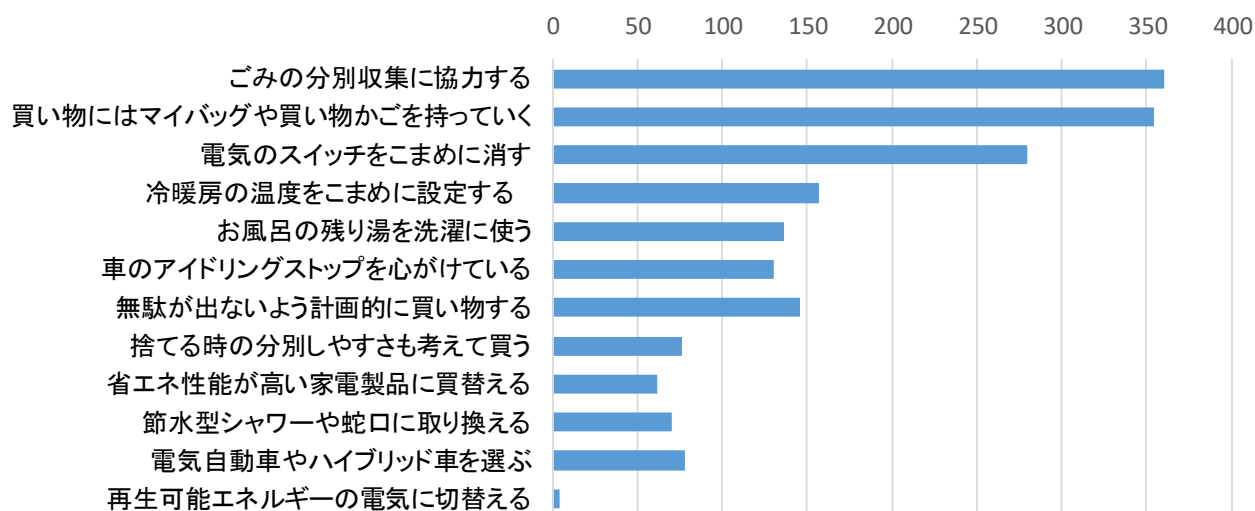


問7. あなたのご家庭では日頃、節電など省エネルギーのためにどのようなことに心がけていますか？

8割以上の住民が実践しているのは「ごみの分別収集に協力する(87%)」、「買い物にはマイバッグや買い物かごを持っていく(86%)」です。

「再生可能エネルギーの電気に切替える」を選択したのは4人(1%)でした。

| | |
|------------------------|-----|
| ごみの分別収集に協力する | 87% |
| 買い物にはマイバッグや買い物かごを持っていく | 86% |
| 電気のスイッチをこまめに消す | 68% |
| 冷暖房の温度をこまめに設定する | 38% |
| お風呂の残り湯を洗濯に使う | 33% |
| 車のアイドリングストップを心がけている | 32% |
| 無駄が出ないように計画的に買い物する | 35% |
| 捨てる時の分別しやすさも考えて買う | 18% |
| 省エネ性能が高い家電製品に買替える | 15% |
| 節水型シャワーや蛇口に取り換える | 17% |
| 電気自動車やハイブリッド車を選ぶ | 19% |
| 再生可能エネルギーの電気に切替える | 1% |

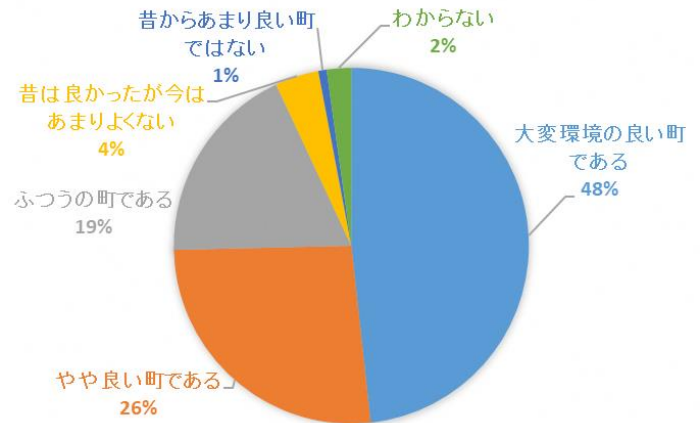


3. 遊佐町の環境について

問1. 遊佐町の自然環境について日頃どう感じていますか。

半数近くが「大変環境の良い町である」と回答しており、「やや良い町である」と合わせると自然環境に対する評価が高い住民が多いことが分かります。

| | |
|------------------|-----|
| 大変環境の良い町である | 194 |
| やや良い町である | 106 |
| ふつうの町である | 74 |
| 昔は良かったが今はあまりよくない | 16 |
| 昔からあまり良い町ではない | 3 |



問2. あなたが遊佐町の自然環境の中で思い出の場所や大切にしたいところ、残していきたいところがありましたらその場所を具体的におこたえ下さい。

テキストマイニングツール (KH Coder) を利用して、記入された内容に含まれる場所 (語) を抽出し、カウントしました。「あなたの身近な場所で」「遊佐町 (全体) で」いずれにおいても、最も多く記入されたのは「鳥海山」次いで「海」「丸池様」でした。「月光川」「八ツ面川」「牛渡川」や「湧水」といった水資源に関するもの、「海岸」「釜磯」「西浜海岸」など海辺の景観に関するものも多くみられました。

①あなたの身近な場所で

| | | |
|------|------|----|
| 鳥海山 | 固有名詞 | 36 |
| 海 | 名詞C | 24 |
| 丸池様 | タグ | 24 |
| 月光川 | 固有名詞 | 14 |
| 湧水 | タグ | 14 |
| 十六羅漢 | 固有名詞 | 11 |
| 川 | 名詞C | 10 |
| 八ツ面川 | タグ | 10 |
| 風景 | 名詞 | 9 |
| 海岸 | 名詞 | 8 |
| 牛渡川 | タグ | 8 |
| 西浜海岸 | タグ | 8 |
| 釜磯 | タグ | 7 |
| 山 | 名詞C | 7 |
| 自然 | 形容動詞 | 7 |
| 松林 | タグ | 7 |
| 田んぼ | 名詞 | 6 |
| 田園 | 名詞 | 6 |
| 海水浴 | 名詞 | 5 |
| 桜 | 名詞C | 5 |
| 水 | 名詞C | 5 |
| 藤井 | 人名 | 5 |
| 胴腹滝 | タグ | 5 |

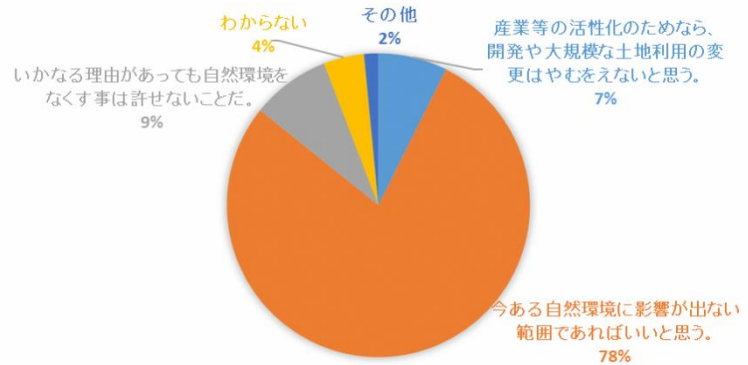
②遊佐町 (全体) で

| | | |
|------|------|-----|
| 鳥海山 | 固有名詞 | 103 |
| 海 | 名詞C | 44 |
| 丸池様 | タグ | 37 |
| 山 | 名詞C | 21 |
| 川 | 名詞C | 18 |
| 自然 | 形容動詞 | 16 |
| 牛渡川 | タグ | 15 |
| 湧水 | タグ | 12 |
| 水 | 名詞C | 11 |
| 釜磯 | タグ | 10 |
| 胴腹滝 | タグ | 9 |
| 月光川 | 固有名詞 | 8 |
| 十六羅漢 | 固有名詞 | 8 |
| 景観 | 名詞 | 7 |
| 日本海 | 地名 | 7 |
| 海岸 | 名詞 | 6 |
| 風景 | 名詞 | 6 |
| 西浜海岸 | タグ | 4 |
| 河川 | 名詞 | 3 |
| 資源 | 名詞 | 3 |
| 田んぼ | 名詞 | 3 |

問3. 遊佐町においても、開発等により昔と比べて身近にある大切な自然環境が減っていると言われますが、そのことに対してどう思いますか。

自然環境よりも開発を優先する姿勢を持つ住民は少なく、「今ある自然環境に影響が出ない範囲であればいいと思う」と、現状の自然環境を維持したい意向を持つ住民が大多数を占めています。

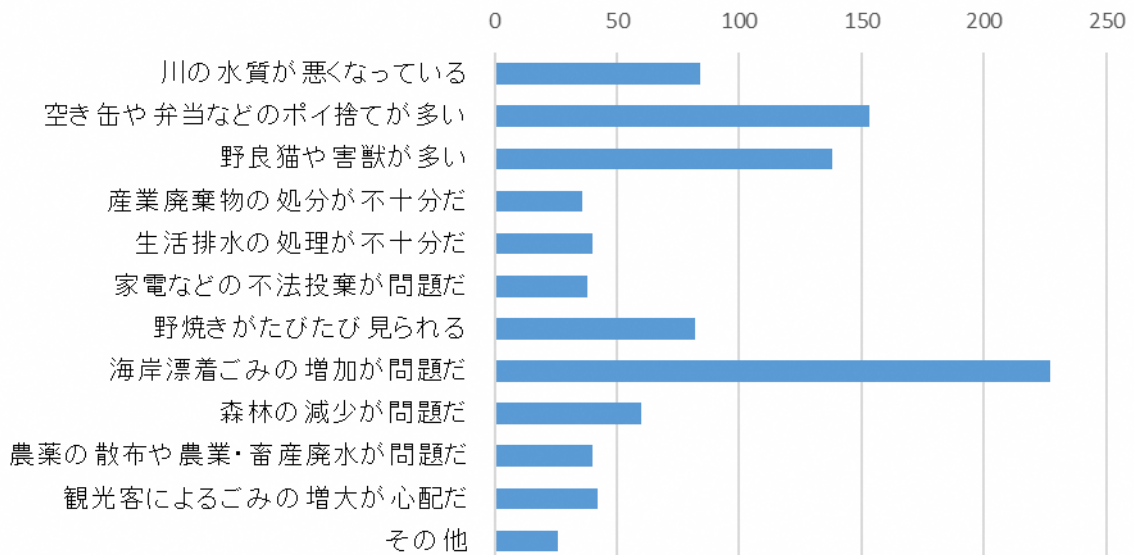
| | |
|--|-----|
| 産業等の活性化のためなら、開発や大規模な土地利用の変更はやむをえないと思う。 | 29 |
| 今ある自然環境に影響が出ない範囲であればいいと思う。 | 308 |
| いかなる理由があっても自然環境をなくす事は許せないことだ。 | 33 |
| わからない | 17 |
| その他 | 6 |



問4. 遊佐町の環境について不安に思うことに○をつけて下さい。(いくつでも可)

半数以上が「海岸漂着ごみの増加が問題だ」を選択しており、海岸漂着ごみについては多くの住民にとって関心が高いことが分かります。「空き缶や弁当などのポイ捨てが多い」「野良猫や害獣が多い」についても過大視している住民が比較的多いようです。

| | |
|-------------------|-----|
| 川の水質が悪くなっている | 20% |
| 空き缶や弁当などのポイ捨てが多い | 37% |
| 野良猫や害獣が多い | 33% |
| 産業廃棄物の処分が不十分だ | 9% |
| 生活排水の処理が不十分だ | 10% |
| 家電などの不法投棄が問題だ | 9% |
| 野焼きがたびたび見られる | 20% |
| 海岸漂着ごみの増加が問題だ | 55% |
| 森林の減少が問題だ | 15% |
| 農薬の散布や農業・畜産廃水が問題だ | 10% |
| 観光客によるごみの増大が心配だ | 10% |
| その他 | 6% |



問5. あなたの周りで不法投棄やポイ捨てが気になる箇所はありますか。

30%が不法投棄やポイ捨てが気になる場所が「ある」と回答しています。

気になる場所として多く挙げられていたのは道路沿い、海岸などで具体的な地点名に関する情報も多く寄せられました。

| | |
|-------|-----|
| ある | 115 |
| とくにない | 267 |

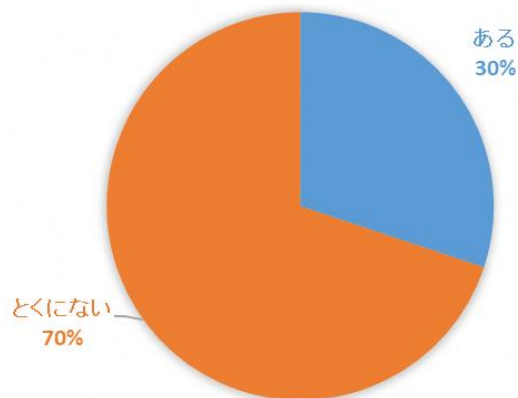
気になる場所：

道路（国道、県道、農道） 42 件

海岸 12 件

農地 9 件

山中 4 件



問6. ごみの不法投棄やポイ捨てについてどう思いますか。

97%が「許せない行為だと思う」と回答しており、ほとんどの住民がごみの不法投棄やポイ捨てに対して厳しい目を持っていることが分かります。

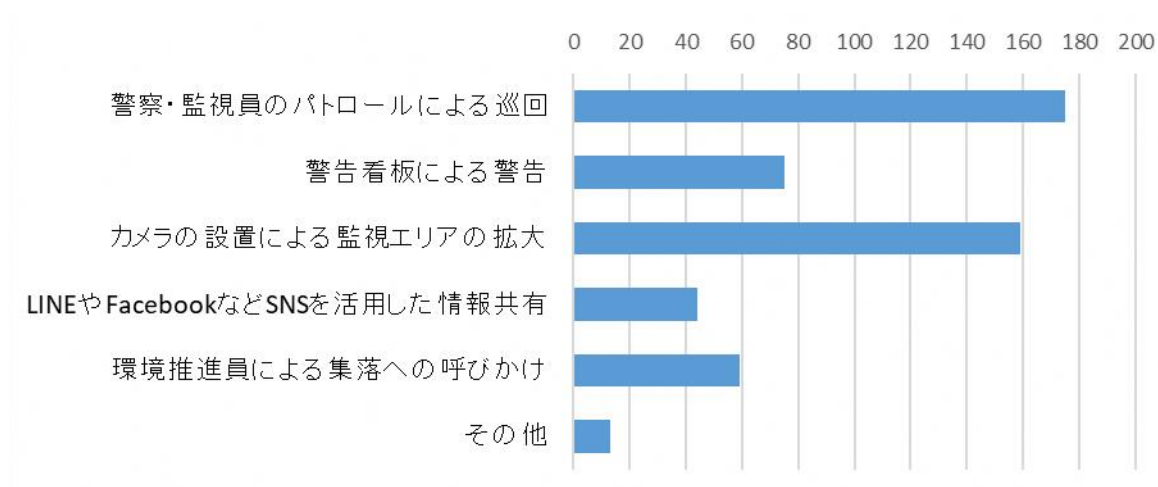
| | |
|--------------------|-----|
| 許せない行為だと思う | 389 |
| タバコの吸い殻位は仕方ないと思う | 4 |
| 自分の目に触れないところなら構わない | 1 |
| わからない | 4 |
| その他 | 3 |



問7. 不法投棄物対策として有効だと思うものはどれですか。

「警察・監視員のパトロールによる巡回」というこれまで取り組まれてきた対策と、「カメラの設置による監視エリアの拡大」に期待する住民が多いようです。

| | |
|----------------------------------|-----|
| 警察・監視員のパトロールによる巡回 | 175 |
| 警告看板による警告 | 75 |
| カメラの設置による監視エリアの拡大 | 159 |
| LINE や Facebook など SNS を活用した情報共有 | 44 |
| 環境推進員による集落への呼びかけ | 59 |
| その他 | 13 |

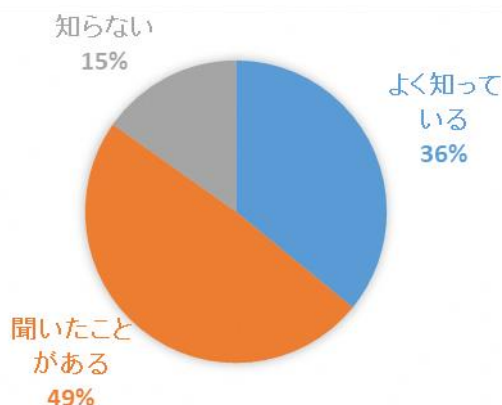


4. 環境政策・施策について

問1. あなたは「持続可能な開発目標 SDGs（エス ディー ジーズ）」という言葉を知っていますか。

「よく知っている」「聞いたことがある」を合わせると83%がSDGsを認知していることになります。これは全国的な傾向（79.8%）¹よりやや高い割合です。

| | |
|----------|-----|
| よく知っている | 144 |
| 聞いたことがある | 196 |
| 知らない | 61 |



問2. あなたが、SDGsを意識して、日頃行っている取り組みはありますか。（複数選択可）

SDGsの17ゴールに対応する、日常で実施できる行動をリスト化して設問にしました。

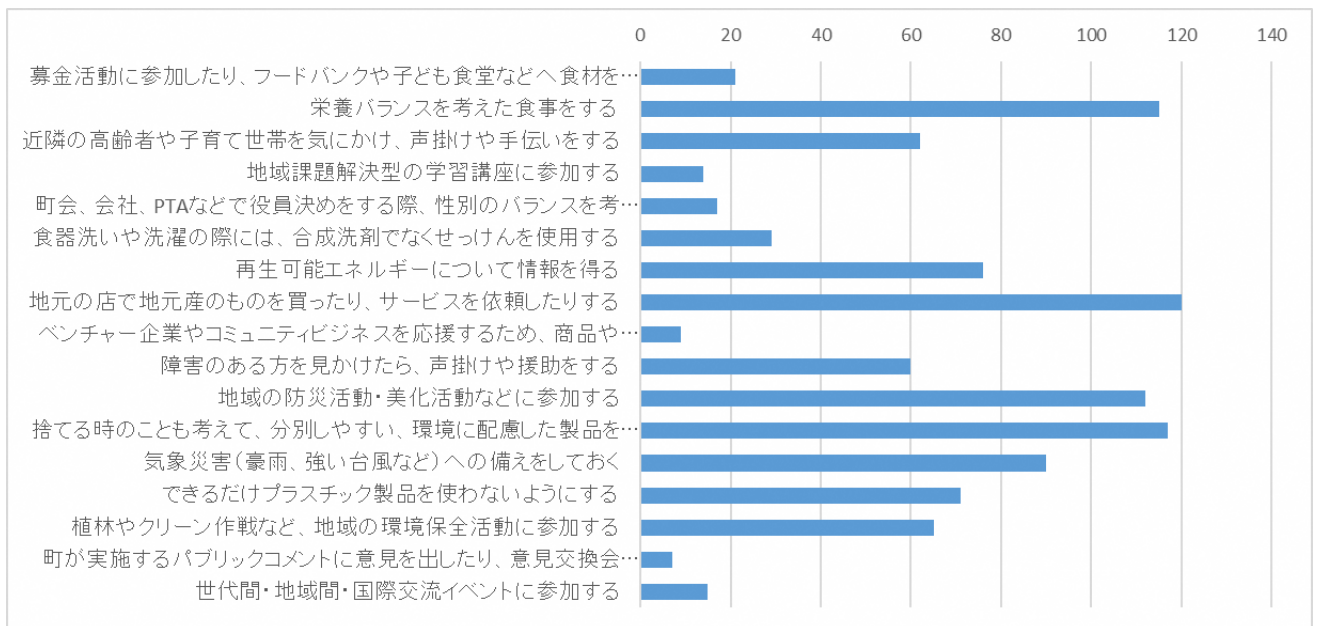
多くの住民が選択したのは「地元の店で地元産のものを買ったり、サービスを依頼したりする（ゴール8：働きがい）」、「捨てる時のことも考えて、分別しやすい、環境に配慮した製品を購入する（ゴール12：生産と消費）」、「栄養バランスを考えた食事をする（ゴール2：飢餓）」、「地域の防災活動・美化活動などに参加する（ゴール11：都市基盤）」であり、これらは30%弱が実施しているようです。

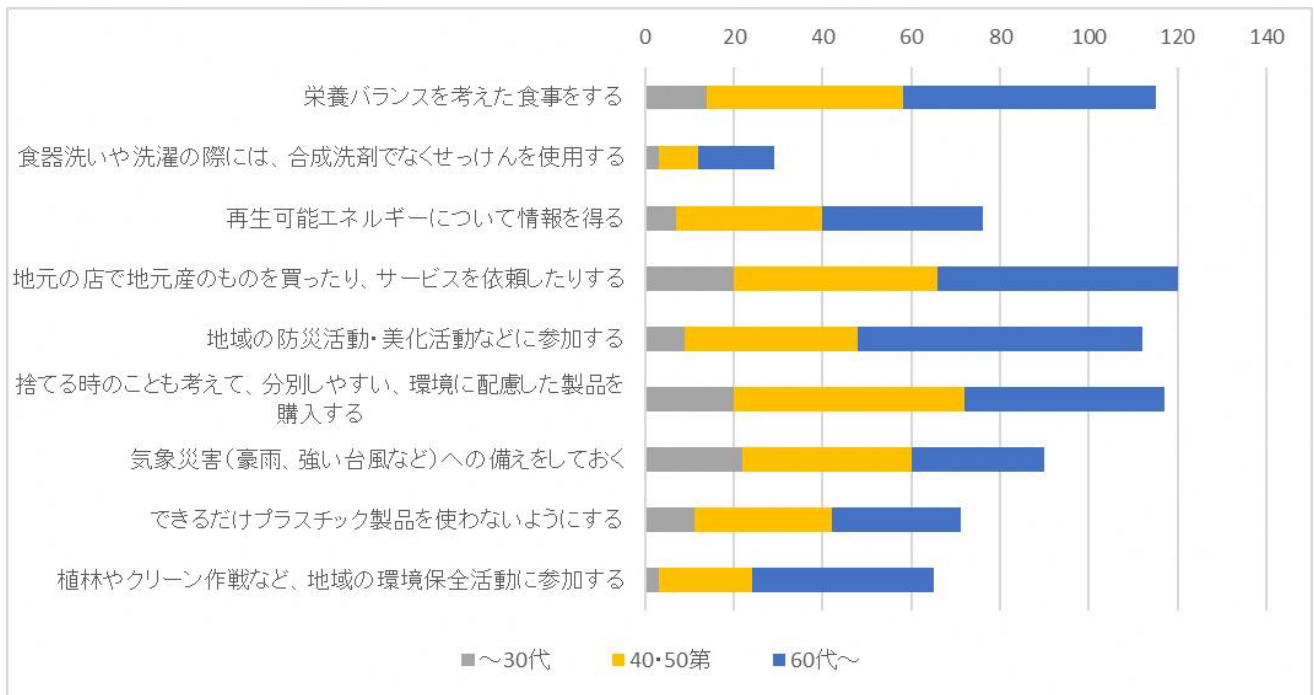
選択（実施）率が5%に満たなかったのは、「町が実施するパブリックコメントに意見を出したり、意見交換会などに参加する（ゴール16：平和と公正）」、「ベンチャー企業やコミュニティビジネスを応援するため、商品やサービスを購入する（ゴール9：産業）」、「地域課題解決型の学習講座に参加する（ゴール4：教育）」、「世代間・地域間・国際交流イベントに参加する（ゴール17：協働）」、「町会、会社、PTAなどで役員決めをする際、性別のバランスを考える（ゴール5：ジェンダー平等）」、「募金活動に参加したり、フードバンクや子ども食堂などへ食材を寄付する（ゴール1：貧困）」、「食器洗いや洗濯の際には、合成洗剤でなくせっけんを使用する（ゴール6：水と衛生）」でした。

選択（実施）率の高い項目と環境分野の項目について、年代ごとに集計をした結果、いずれの項目も高い年代ほど選択（実施）率が高いことが分かりました。

¹ 株式会社インテージプレスリリース「SDGs認知率は8割、2年間で約3倍に」
https://www.intage.co.jp/news_events/news/2022/20220209.html

| | |
|--|-----|
| 募金活動に参加したり、フードバンクや子ども食堂などへ食材を寄付する | 21 |
| 栄養バランスを考えた食事をする | 115 |
| 近隣の高齢者や子育て世帯を気にかけて、声掛けや手伝いをする | 62 |
| 地域課題解決型の学習講座に参加する | 14 |
| 町会、会社、PTAなどで役員決めをする際、性別のバランスを考える | 17 |
| 食器洗いや洗濯の際には、合成洗剤でなくせっけんを使用する | 29 |
| 再生可能エネルギーについて情報を得る | 76 |
| 地元の店で地元産のものを買ったり、サービスを依頼したりする | 120 |
| ベンチャー企業やコミュニティビジネスを応援するため、商品やサービスを購入する | 9 |
| 障害のある方を見かけたら、声掛けや援助をする | 60 |
| 地域の防災活動・美化活動などに参加する | 112 |
| 捨てる時のことも考えて、分別しやすい、環境に配慮した製品を購入する | 117 |
| 気象災害（豪雨、強い台風など）への備えをしておく | 90 |
| できるだけプラスチック製品を使わないようにする | 71 |
| 植林やクリーン作戦など、地域の環境保全活動に参加する | 65 |
| 町が実施するパブリックコメントに意見を出したり、意見交換会などに参加する | 7 |
| 世代間・地域間・国際交流イベントに参加する | 15 |

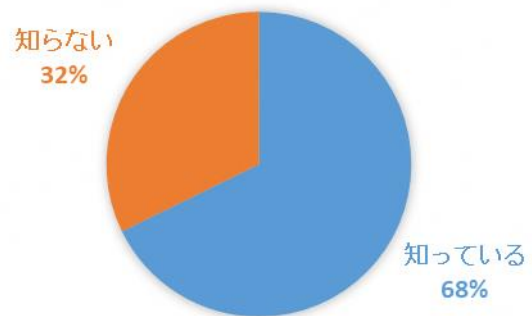




問3. あなたは、国が「2050年に向けてカーボンニュートラル、脱炭素社会を目指す」ことを宣言していることを知っていますか。

68%が「知っている」と回答しており、多くの住民が脱炭素へ向かう社会の潮流を意識していることが分かります。

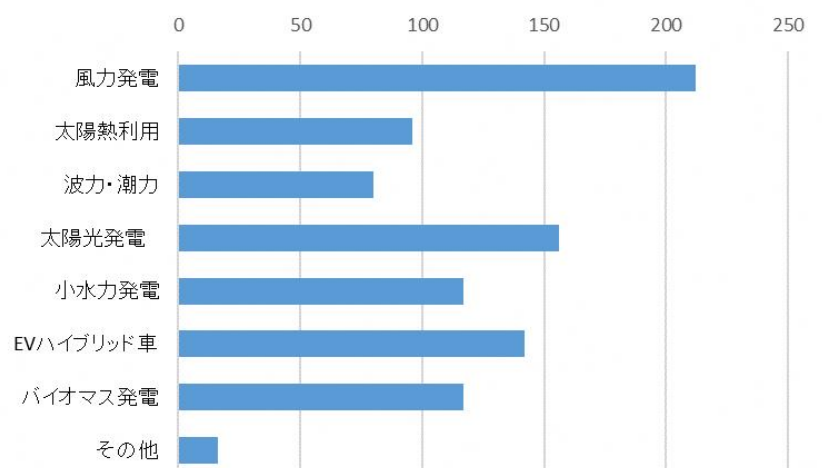
| | |
|-------|-----|
| 知っている | 144 |
| 知らない | 61 |



問4. 今後、町内で開発・普及した方が良いエネルギーは何ですか？ 3つまで選んで下さい。

多くの住民が期待しているのは「風力発電」であり、次いで「太陽光発電」、「電気自動車・ハイブリッド車」です。

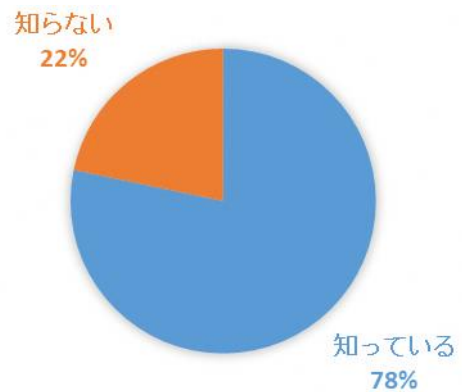
| | |
|-----------|-----|
| 風力発電 | 212 |
| 太陽熱利用 | 96 |
| 波力・潮力 | 80 |
| 太陽光発電 | 156 |
| 小水力発電 | 117 |
| EVハイブリッド車 | 142 |
| バイオマス発電 | 117 |
| その他 | 16 |



問5. 現在遊佐町沖で、「洋上風力発電事業」の導入が検討されていることを知っていますか。

78%が「知っている」と回答しており、洋上風力発電事業の認知度は高いようです。

| | |
|-------|-----|
| 知っている | 317 |
| 知らない | 88 |

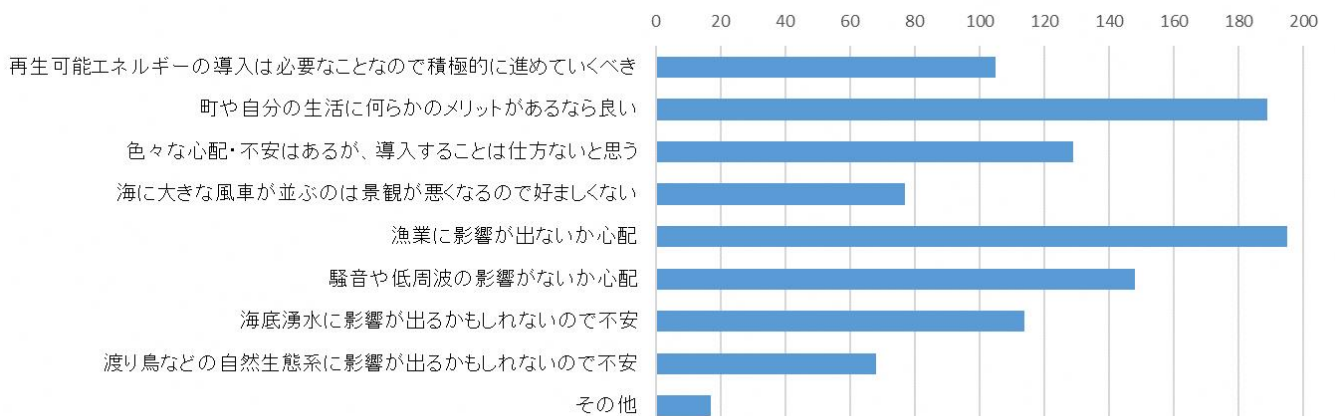


問6. あなたは、遊佐町沖に「洋上風力発電事業」が導入されるとした場合、どう思いますか？（あてはまるもの3つに○を付けてください。）

「海に大きな風車が並ぶのは景観が悪くなるので好ましくない」という反対意見を、「再生可能エネルギーの導入は必要なことなので積極的に進めていくべき」という賛成意見が、さらに「町や自分の生活に何らかのメリットがあるなら良い」という条件付き賛成が上回っています。

一方で、「色々な心配・不安はあるが、導入することは仕方ないと思う」という消極的な容認意見を持つ住民も多く、様々な不安があることも明らかになりました。特に「漁業」や「騒音や低周波」の影響について懸念する住民が多いようです。

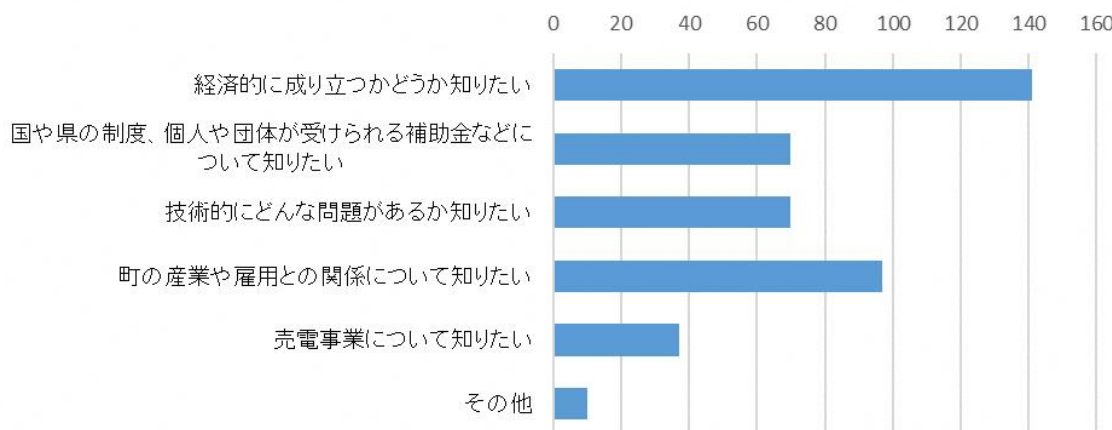
| | |
|----------------------------------|-----|
| 再生可能エネルギーの導入は必要なことなので積極的に進めていくべき | 105 |
| 町や自分の生活に何らかのメリットがあるなら良い | 189 |
| 色々な心配・不安はあるが、導入することは仕方ないと思う | 129 |
| 海に大きな風車が並ぶのは景観が悪くなるので好ましくない | 77 |
| 漁業に影響が出ないか心配 | 195 |
| 騒音や低周波の影響がないか心配 | 148 |
| 海底湧水に影響が出るかもしれないので不安 | 114 |
| 渡り鳥などの自然生態系に影響が出るかもしれないので不安 | 68 |
| その他 | 17 |



問7. 再生可能エネルギーについて知りたいことはありますか

最も多く選択されたのは「経済的に成り立つかどうか知りたい」、次いで「町の産業や雇用との関係について知りたい」であり、再生可能エネルギーと地域の産業・経済を結び付けて関心を持っている住民が多いことがうかがえます。

| | |
|---------------------------------|-----|
| 経済的に成り立つかどうか知りたい | 141 |
| 国や県の制度、個人や団体が受けられる補助金などについて知りたい | 70 |
| 技術的にどんな問題があるか知りたい | 70 |
| 町の産業や雇用との関係について知りたい | 97 |
| 売電事業について知りたい | 37 |
| その他 | 10 |



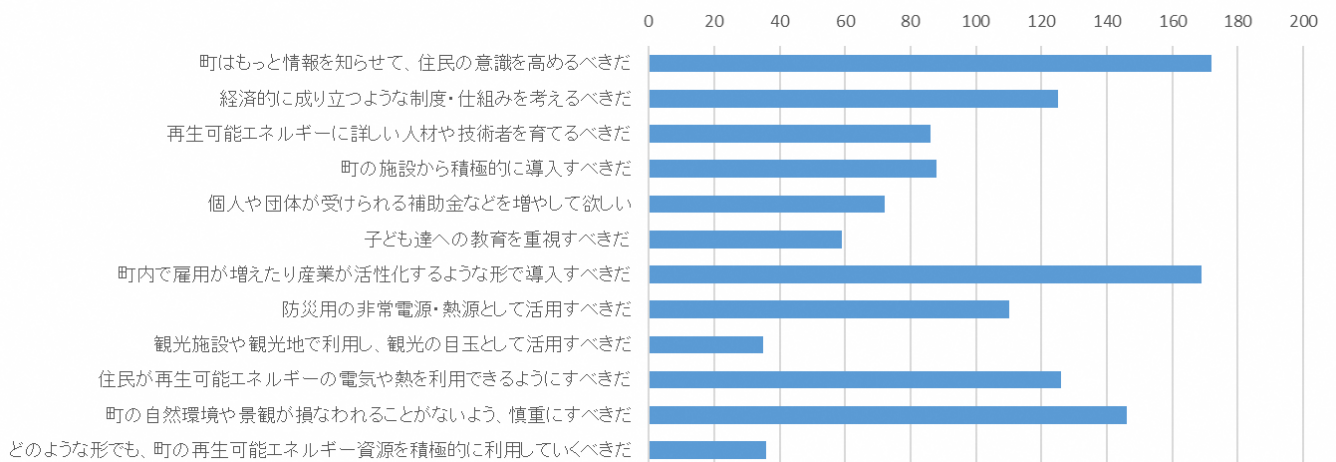
問8. 再生可能エネルギーを導入するために必要なことは何ですか？（複数回答可）

最も多い42%が選択したのは「町はもっと情報を知らせて、住民の意識を高めるべきだ」であり、積極的な情報開示が求められていることが分かります。

「町内で雇用が増えたり産業が活性化するような形で導入すべきだ（41%）」、「経済的に成り立つような制度・仕組みを考えるべきだ（30%）」、「住民が再生可能エネルギーの電気や熱を利用できるようにすべきだ（31%）」といった、産業や地域経済への波及、住民のメリットが得られる形での実施を望む意見も多いようです。

また、35%が「町の自然環境や景観が損なわれないよう、慎重にすべきだ」を選択しており、自然環境・景観の保全を前提とした再生可能エネルギー導入が望まれているようです。

| | |
|--------------------------------------|-----|
| 町はもっと情報を知らせて、住民の意識を高めるべきだ | 172 |
| 経済的に成り立つような制度・仕組みを考えるべきだ | 125 |
| 再生可能エネルギーに詳しい人材や技術者を育てるべきだ | 86 |
| 町の施設から積極的に導入すべきだ | 88 |
| 個人や団体が受けられる補助金などを増やして欲しい | 72 |
| 子ども達への教育を重視すべきだ | 59 |
| 町内で雇用が増えたり産業が活性化するような形で導入すべきだ | 169 |
| 防災用の非常電源・熱源として活用すべきだ | 110 |
| 観光施設や観光地で利用し、観光の目玉として活用すべきだ | 35 |
| 住民が再生可能エネルギーの電気や熱を利用できるようにすべきだ | 126 |
| 町の自然環境や景観が損なわれることがないよう、慎重にすべきだ | 146 |
| どのような形でも、町の再生可能エネルギー資源を積極的に利用していくべきだ | 36 |

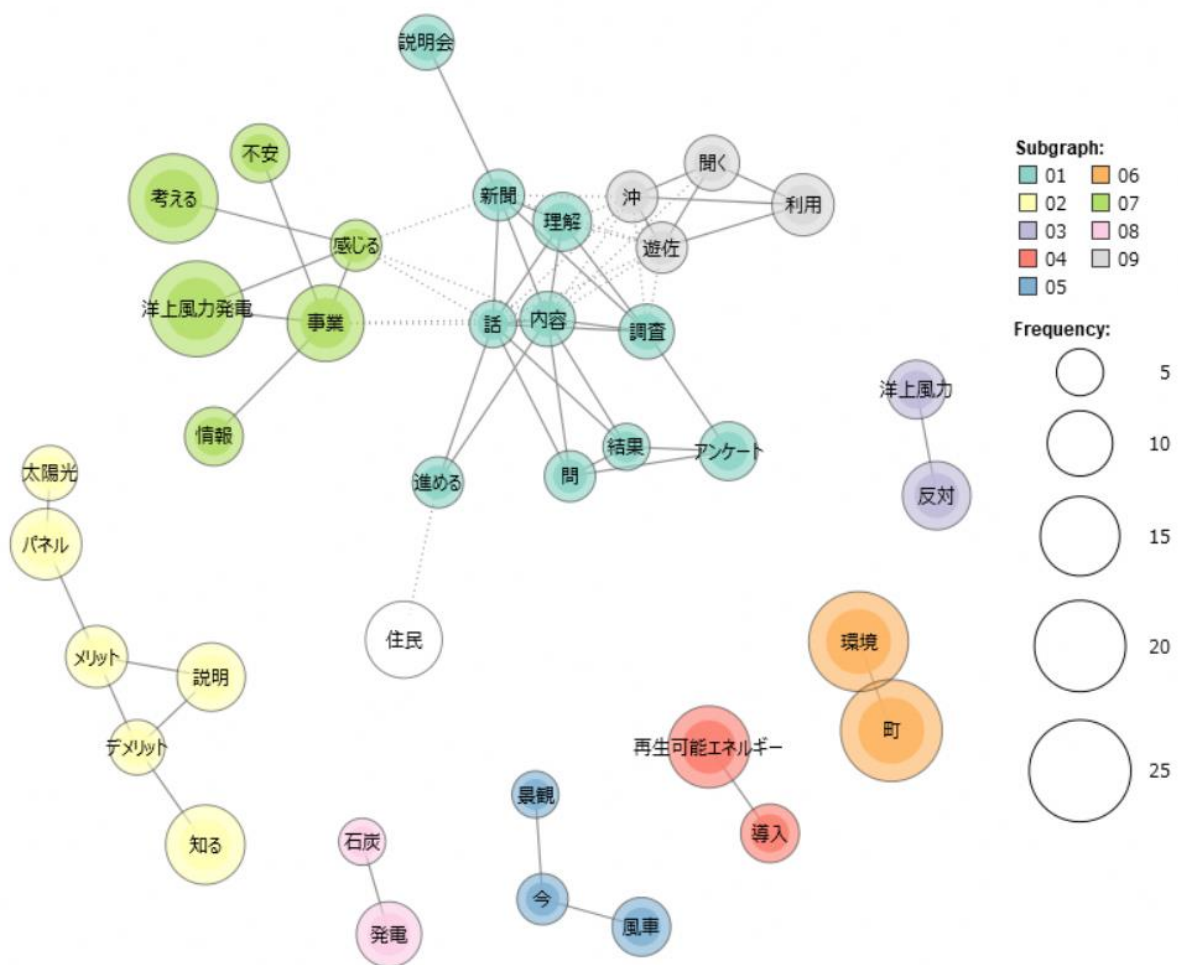


5. 自由筆記

町の環境政策や、再生可能エネルギーに対する不安や疑問、ご要望など自由にお書き下さい。
 回答者のうち、86名の記述がありました。テキストマイニングツール（KH Coder）を利用して、記入された内容に含まれる場所（語）の共起構造（一緒に使われている語の関係）を可視化しました。

「洋上風力発電」「不安」「情報」等のグループや「風車」「景観」、「洋上風力」「反対」のグループのように、遊佐沖で検討されている洋上風力発電事業に関して、さまざまな不安や情報開示の必要性についての意見が多くありました。

また「太陽光」「メリット」「デメリット」等のグループや「再生可能エネルギー」「導入」のグループのように、再生可能エネルギー導入の必要性が高まっていること、導入に際してはメリット・デメリットを明確にした上で進めるべきことなど、再生可能エネルギー全般への期待と留意点を指摘する意見も多くありました。



遊佐町環境に関する町民意向調査【事業者】 集計結果

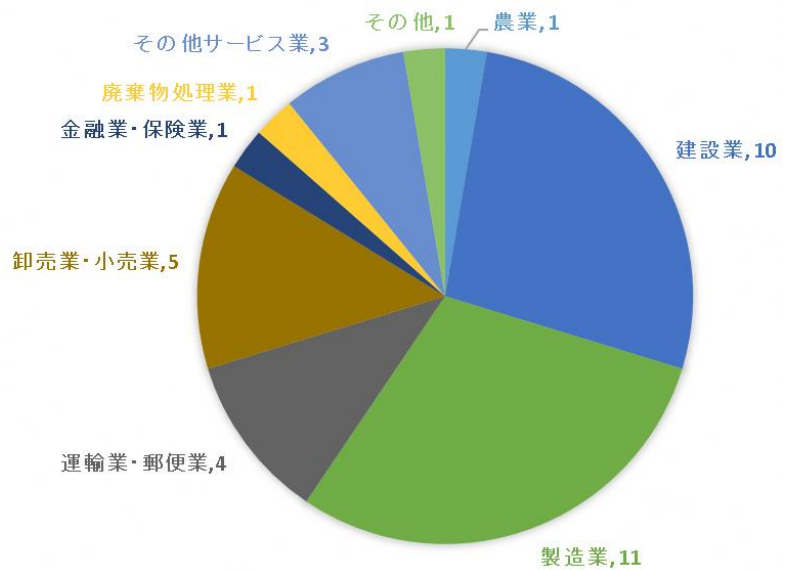
0. アンケート概要

- (1) 対象 町内に住所を有する事業者 60 社
- (2) 方法 郵送配布・回答
- (3) 期間 令和4年6月15日（発送）～7月1日（最終締め切り）
- (4) 回収状況 ①発送数：60 件
 ②転居・回答不能等による返送数：0 件
 ③回収数：37 件（回答率 61.7%）

1. 集計結果

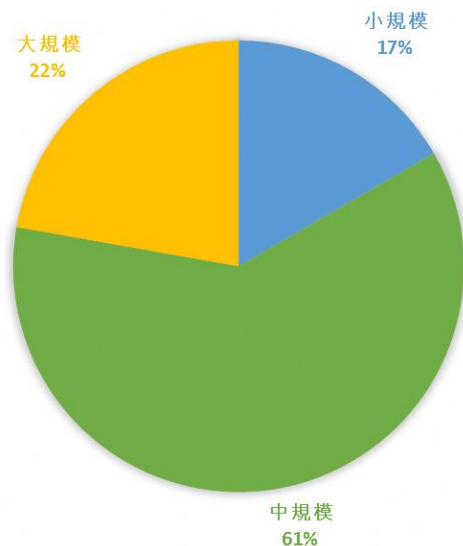
問1. あなたの事業所の業種は下記の分類のどちらですか？

| | |
|----------|----|
| 農業 | 1 |
| 建設業 | 10 |
| 製造業 | 11 |
| 運輸業・郵便業 | 4 |
| 卸売業・小売業 | 5 |
| 金融業・保険業 | 1 |
| 廃棄物処理業 | 1 |
| その他サービス業 | 3 |
| その他 | 1 |



問2. あなたの事業所の規模はどのくらいですか？

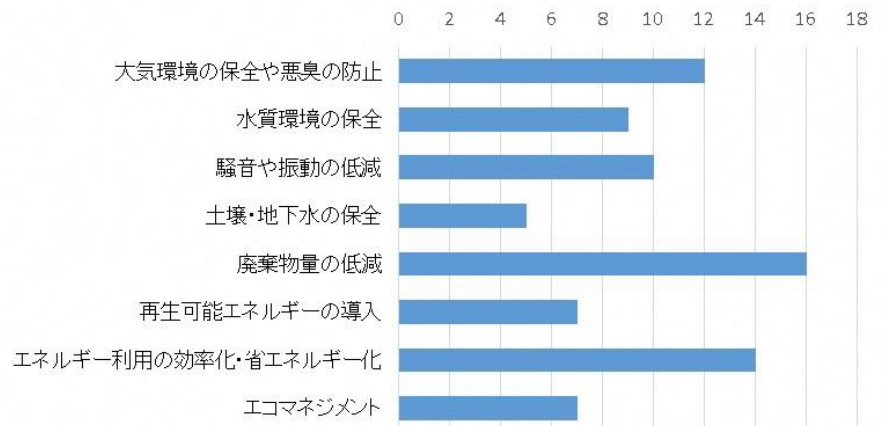
| | |
|----------------|----|
| 小規模（従業員数2～5人） | 6 |
| 中規模（従業員数6～50人） | 22 |
| 大規模（従業員数51人～） | 8 |



問3. 遊佐町の豊かな自然環境を保全していくために、あなたの事業所で特に配慮していることは何ですか？（複数回答可）

最も多くが選択したのは「廃棄物量の低減」、次いで「エネルギー利用の効率化・省エネルギー化」、「大気環境の保全や悪臭の防止」でした。

| | |
|---------------------|----|
| 大気環境の保全や悪臭の防止 | 12 |
| 水質環境の保全 | 9 |
| 騒音や振動の低減 | 10 |
| 土壌・地下水の保全 | 5 |
| 廃棄物量の低減 | 16 |
| 再生可能エネルギーの導入 | 7 |
| エネルギー利用の効率化・省エネルギー化 | 14 |
| エコマネジメント | 7 |



問4. 問3で「1.～5.」と答えた方にお聞きします。具体的にはどのような環境保全施設・機器整備や取組みをしていますか？

各項目に関連して、次の記述がありました。

1. 大気環境の保全や悪臭の防止

- ・ 臭気が発生しにくい手順で製造を行っている
- ・ 特定特殊自動車排ガス 2014年基準適合車バックホウの導入
- ・ 排ガスを燃焼させ、無害化し大気放出

2. 水質環境の保全

- ・ 省農薬、有機肥料の活用、従業員のためのトイレの設置
- ・ 脱臭装置、排水処理施設の設置及び適正運用
- ・ 地下水使用、毎日水の品質検査
- ・ 排水の管理及び浄化槽管理

3. 騒音や振動の低減

- ・ 新しい車輛及び重機等を導入し、大気への負荷・騒音・振動の低減に努めている
- ・ 作業環境の騒音測定を行い、サイレンサー等の機器を設置
- ・ 対応重機・計測器使用
- ・ 低騒音、低振動型建設機械を使用
- ・ 低騒音や低振動機械を使用土壌・地下水の保全

4. 廃棄物量の低減

- ・ おが粉等のリサイクルへの取り組み
- ・ 規格外品を利用して製品化
- ・ ゴミの減量化
- ・ 再生可能な廃棄物は率先して業者に持って行ってもらっている
- ・ 雑紙などもゴミ袋に捨てず廃棄物処理業者にダンボールと一緒に渡している

- ・ 資材の再利用（リサイクル）
- ・ 施設を清潔に保ちゴミの分別をしっかりやる
- ・ 製品レンタルと使用済み品の再資源化、部品の再利用ができるようにした製品の開発・製造・販売、社内加工で発生した資材の再資源化
- ・ 廃棄物とリサイクル可能材の細かな分類等
- ・ 廃棄物の分別
- ・ 分別処理

5. エネルギー利用の効率化・省エネルギー化

- ・ CO2 排出削減対策、アイドリングストップ・エコ運転
- ・ CO2 排出量削減の為ボイラー更新（A 重油→LPG）、EV トラックの導入検討
- ・ お客様へ環境に配慮したビル管理を提案し、高効率機器への更新など省エネルギーを推進する。
- ・ 工事車輛・重機等のアイドリングストップ
- ・ 省エネルギー機器の導入
- ・ 使用時は必要外のアイドリングを避ける

問5. 問5 問3で「6.」と答えた方にお聞きします。具体的にはどのような再生可能エネルギー設備・機器を導入していますか？

太陽光発電設備を導入している事業所が6件ありました。

うち1件はオール電化を採用しています。

問6. 問3で「8. エコマネジメント」と答えたかたにお聞きします。具体的にはどのようなエコマネジメント活動をしていますか？

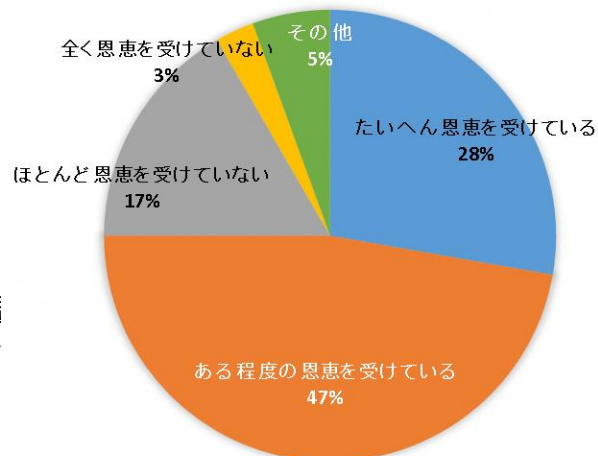
ISO1400、エコアクション 21 の他、グリーン経営認証、エコステージを採用している事業所もありました。

| | |
|------------|---|
| ISO14001 | 3 |
| エコアクション 21 | 1 |
| その他 | 4 |

問7. あなたの事業所の活動は遊佐町の豊かな環境の恩恵を受けていると思いますか？

「たいへん恩恵を受けている」、「ある程度の恩恵を受けている」を合わせて75%となり、多くの事業所が町の自然環境の恩恵を感じているようです。

| | |
|---------------|----|
| たいへん恩恵を受けている | 10 |
| ある程度の恩恵を受けている | 17 |
| ほとんど恩恵を受けていない | 6 |
| 全く恩恵を受けていない | 1 |
| その他 | 2 |

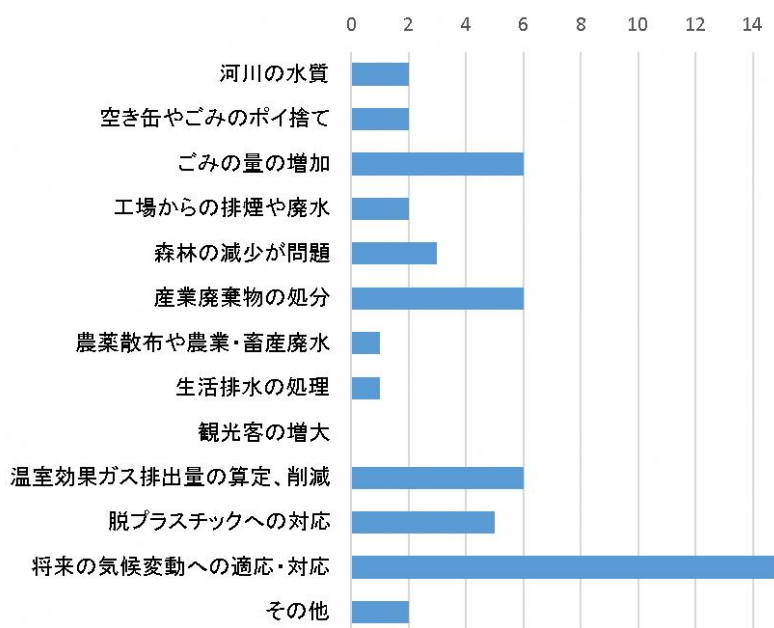


問8. あなたの事業所の活動をするにあたり、不安だと

突出して選択が多かったのは「将来の気候変動への適

比較的多くの事業所が不安視していたのは「ごみの量の増加」「産業廃棄物の処分」「温室効果ガス排出量の算定、削減」「脱プラスチックへの対応」でした。事業所が抱える環境面での課題が、廃棄物と脱炭素であることが分かります。

| | |
|-----------------|----|
| 河川の水質 | 2 |
| 空き缶やごみのポイ捨て | 2 |
| ごみの量の増加 | 6 |
| 工場からの排煙や廃水 | 2 |
| 森林の減少 | 3 |
| 産業廃棄物の処分 | 6 |
| 農薬散布や農業・畜産廃水 | 1 |
| 生活排水の処理 | 1 |
| 観光客の増大 | 0 |
| 温室効果ガス排出量の算定、削減 | 6 |
| 脱プラスチックへの対応 | 5 |
| 将来の気候変動への適応・対応 | 15 |
| その他 | 2 |



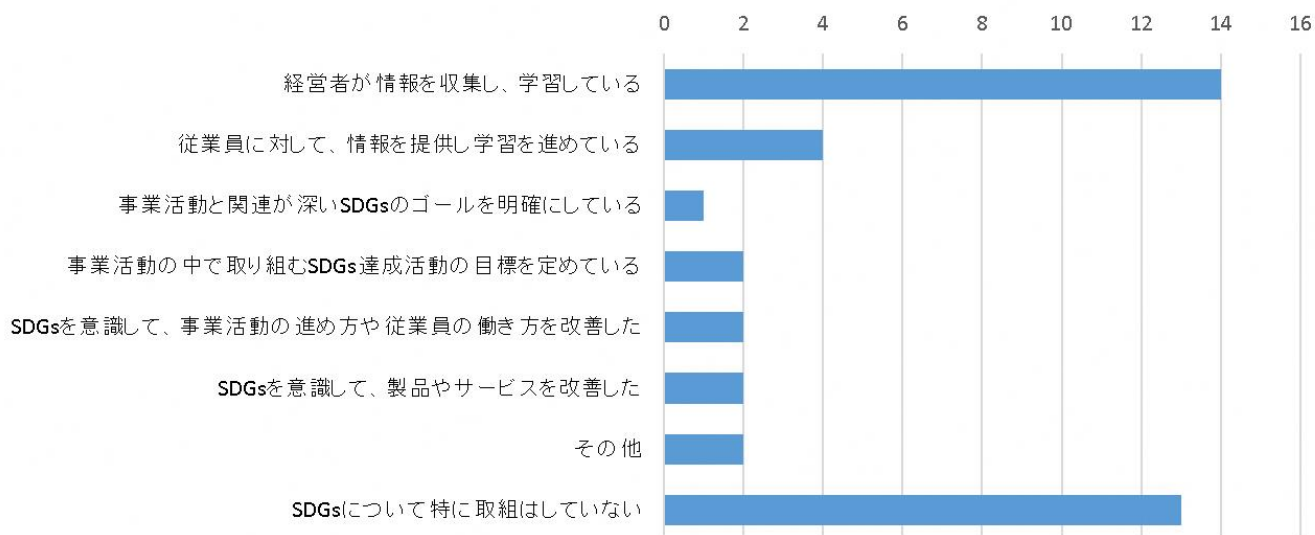
問9. SDGsについて、あなたの事業所ではどのような対応をしていますか？

38%の事業所が「経営者が情報を収集し、学習している」と回答しています。

数は少ないものの、「事業活動の中で取り組むSDGs達成活動の目標を定めている」「SDGsを意識して、事業活動の進め方や従業員の働き方を改善した」「SDGsを意識して、製品やサービスを改善した」と、事業活動の中で踏み込んだ実践をしている事業所も見られます。

一方で「SDGsについて特に取組はしていない」という事業所も少なくないようです。

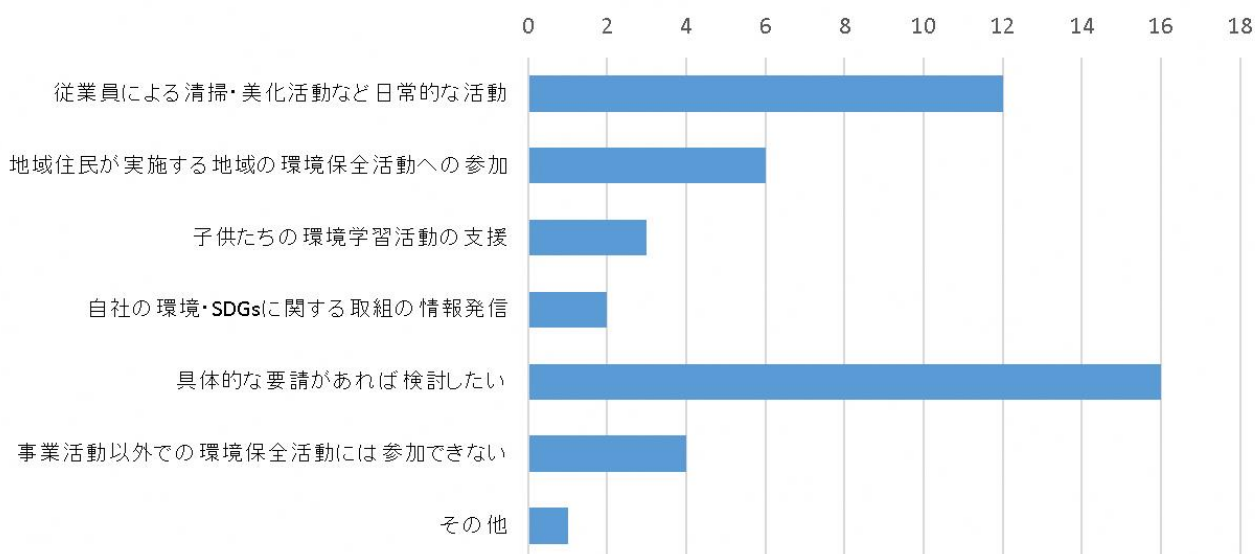
| | |
|---------------------------------|----|
| 経営者が情報を収集し、学習している | 14 |
| 従業員に対して、情報を提供し学習を進めている | 4 |
| 事業活動と関連が深いSDGsのゴールを明確にしている | 1 |
| 事業活動の中で取り組むSDGs達成活動の目標を定めている | 2 |
| SDGsを意識して、事業活動の進め方や従業員の働き方を改善した | 2 |
| SDGsを意識して、製品やサービスを改善した | 2 |
| その他 | 2 |
| SDGsについて特に取組はしていない | 13 |



問10. あなたの事業所では、どのような形であれば町の環境保全活動に参加していただけますか？

半数近くの事業所が「具体的な要請があれば検討したい」と、前向きな姿勢を示しています。「従業員による清掃・美化活動など日常的な活動」を挙げた事業所も多く、事業活動と近いところでの活動も可能性がありそうです。

| | |
|------------------------|----|
| 従業員による清掃・美化活動など日常的な活動 | 12 |
| 地域住民が実施する地域の環境保全活動への参加 | 6 |
| 子供たちの環境学習活動の支援 | 3 |
| 自社の環境・SDGsに関する取組の情報発信 | 2 |
| 具体的な要請があれば検討したい | 16 |
| 事業活動以外での環境保全活動には参加できない | 4 |
| その他 | 1 |



問 1 1. あなたの事業所の活動のために必要な環境の情報は何ですか？自由にお書き下さい。

- ・ 社内では分別廃棄を行っているが、実際に廃棄しようとする可燃処理か埋め立て処理のいずれかとなっている。どういう形にすればリサイクルできるのか、或いは、ごみをリサイクルしてくれる業者が分かれば産業廃棄物量を減らせると思うので、そういった情報が欲しい
- ・ 環境保全に係る法律の把握、環境に配慮した機器及び資材の情報
- ・ 天気予報のより正確な情報
- ・ 将来、社会に最も日常的かつ経済的に一般に使用されるエネルギー源
- ・ 省エネルギー対策の情報
- ・ エネルギーや資源の削減目標や効率的な生産目標など
- ・ 地球温暖化を防ぐ
- ・ 森林・農地面積の増減
- ・ 大気中の放射線量
- ・ 積雪時の早急な除排雪での道路確保、豪雨時の路上冠水の処理
- ・ 町や町内の企業が行っている活動の情報
- ・ 何をすればいいか具体的に教えて欲しい

問 1 2. あなたの事業所の活動のために必要な環境施策は何ですか？自由にお書き下さい。

- ・ 道路施設の円滑に利用できる対策・処置
- ・ 地球温暖化を防ぐために、ごみの減量と分別をテーマにして、書類等（紙）をできるだけ少なくして、温室効果ガス削減に取り組みます
- ・ 節電やごみ拾いなどの費用がかからない活動もあるが、長く活動を行っていると、省エネ設備の導入や省エネ改修（遮熱塗装）など、費用がかかる活動が多くなる。こういうものに利用できる補助制度が充実されればありがたい。
- ・ 社内教育の徹底（自らの作業、行動が環境に対してどのような影響があるか認識ができるよう環境教育の実施）
- ・ 電力や灯油などの削減目標をクリアする為の行動指針や、QC 活動や提案制度等の活用
- ・ 観光地のトイレ事情は重大なポイントです。目標に農作業をする者にとっても現場のトイレ環境が整っているといたないのでは、労働環境に大きな差が生じると思っております。現状ではあまりその点を重視していないのではないのでしょうか？
- ・ 農家が有機肥料を使い易くするための助成金支給
- ・ 燃料費高騰に対する支援
- ・ 環境対策への助成金及び減税、遊佐町で発電した再生エネルギーを安く購入できること
- ・ 工場内で使用する電力低減など
- ・ 温暖化対策、みどりの食料システム戦略

遊佐町の環境に関するアンケート【小中学生】 集計結果

0. アンケート概要

(1) 対象 町内全校の小学5・6年生、中学1年生 計261名

| | 蕨岡小 | 遊佐小 | 藤崎小 | 高瀬小 | 吹浦小 | 遊佐中 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 5年生 | 8 | 26 | 14 | 16 | 12 | — |
| 6年生 | 13 | 35 | 16 | 17 | 16 | — |
| 1年生 | — | — | — | — | — | 88 |

(2) 方法 学校にて直接配布・回答

(3) 期間 令和4年6月15日(発送)～7月1日(最終締め切り)

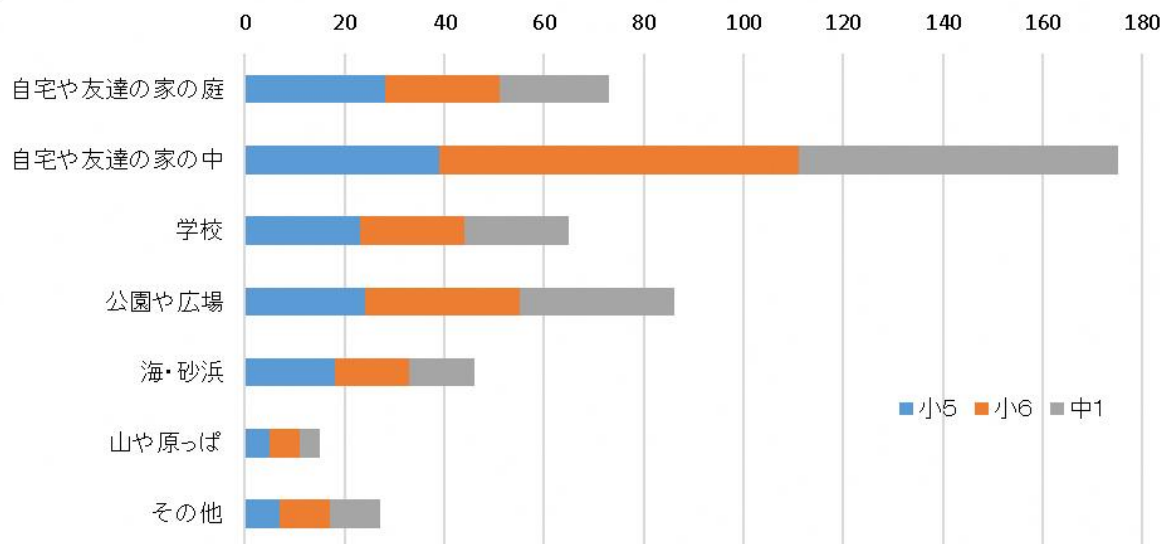
1. 集計結果

問1. あなたが好きな遊び場と遊びの内容を書いてください。(主な場所2か所まで)

最も多くが選択したのは「自宅や友達の家の中」でした。

「海・砂浜」や「山や原っぱ」といった自然の中で遊ぶ子どもは多くないようですが、「公園や広場」の選択は多く、外遊びを好む子どもは多いことがうかがえます。

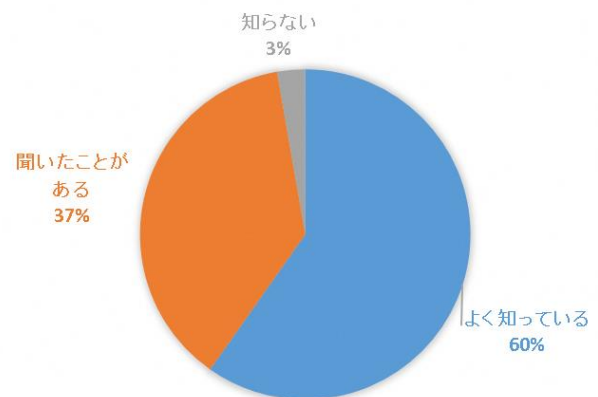
| 遊び場 | 回答数 | 主な遊びの内容 |
|-----------|-----|------------------------------|
| 自宅や友達の家の中 | 73 | 鬼ごっこ、サッカー・野球・バスケなどのスポーツ 等 |
| 自宅や友達の家の中 | 175 | ゲーム、動画視聴、絵を描く、読書、会話 等 |
| 学校 | 65 | 鬼ごっこ、サッカー・ドッジボールなどのスポーツ、会話 等 |
| 公園や広場 | 86 | 鬼ごっこ、サッカー・ドッジボールなどのスポーツ、遊具 等 |
| 海・砂浜 | 46 | 泳ぐ、魚釣り、水遊び、貝殻拾い 等 |
| 山や原っぱ | 15 | 鬼ごっこ、虫取り、探検 等 |
| その他 | 27 | (場所) イオン、エルバ、わだ家、町民体育館 等 |



問2. 問2. あなたは「SDGs (エス ディー ジーズ)」という言葉を知っていますか。

「よく知っている」「聞いたことがある」を合わせると97%になり、ほとんどの子どもがSDGsを認知していることが分かります。

| | |
|----------|-----|
| よく知っている | 153 |
| 聞いたことがある | 96 |
| 知らない | 7 |



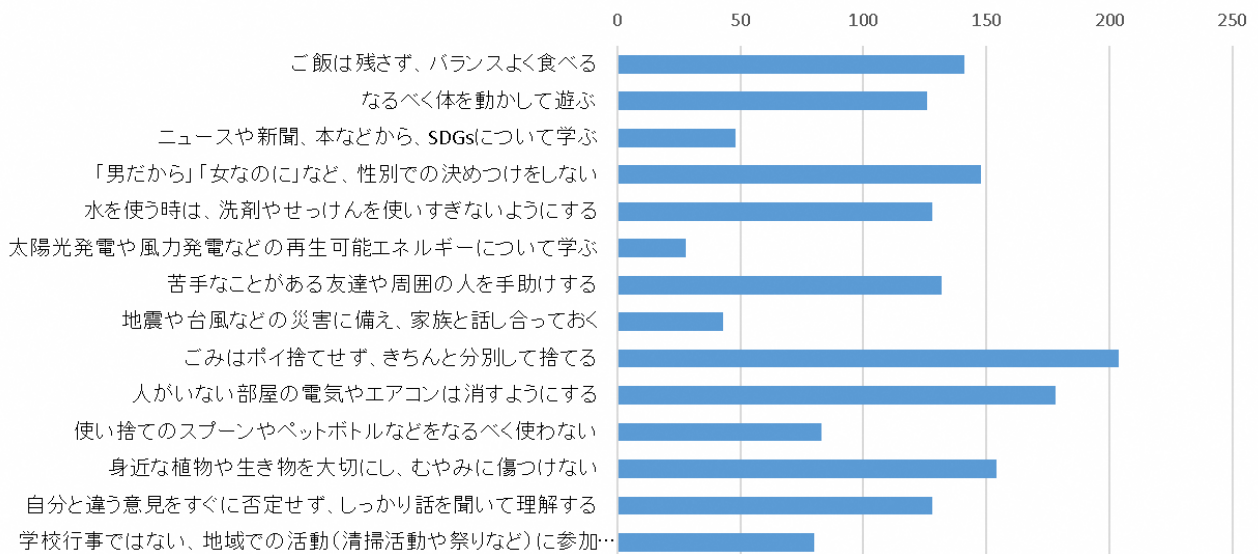
問3. あなたは、「SDGs」を意識して、日頃行っていることはありますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

SDGsの17ゴールに対応する、日常で実施できる行動をリスト化して設問にしました。

半数以上が選択したのは、「ごみはポイ捨てせず、きちんと分別して捨てる(ゴール12:生産と消費)」、「人がいない部屋の電気やエアコンは消すようにする(ゴール13:気候変動)」、「身近な植物や生き物を大切に、むやみに傷つけない(ゴール14:陸上生態系)」、「「男だから」「女なのに」など、性別での決めつけをしない(ゴール5:ジェンダー平等)」、「ご飯は残さず、バランスよく食べる(ゴール1:飢餓)」、「苦手なことがある友達や周囲の人を手助けする(ゴール10:平等)」でした。

| | |
|-----------------------------|-----|
| ご飯は残さず、バランスよく食べる | 141 |
| なるべく体を動かして遊ぶ | 126 |
| ニュースや新聞、本などから、SDGsについて学ぶ | 48 |
| 「男だから」「女なのに」など、性別での決めつけをしない | 148 |

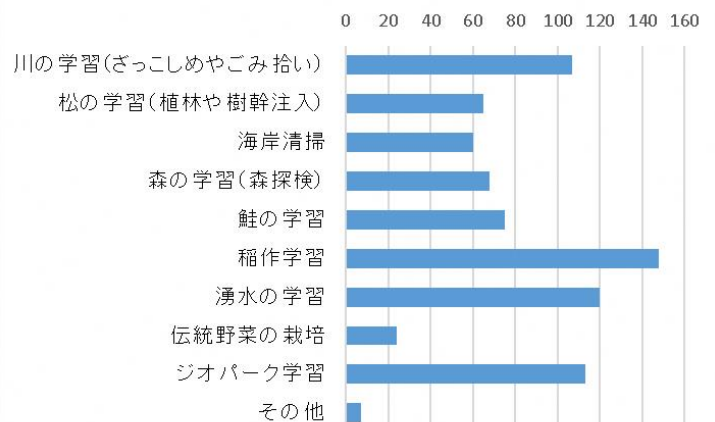
| | |
|------------------------------------|-----|
| 水を使う時は、洗剤やせっけんを使いすぎないようにする | 128 |
| 太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーについて学ぶ | 28 |
| 苦手なことがある友達や周囲の人を手助けする | 132 |
| 地震や台風などの災害に備え、家族と話し合っておく | 43 |
| ごみはポイ捨てせず、きちんと分別して捨てる | 204 |
| 人がいない部屋の電気やエアコンは消すようにする | 178 |
| 使い捨てのスプーンやペットボトルなどをなるべく使わない | 83 |
| 身近な植物や生き物を大切にし、むやみに傷つけない | 154 |
| 自分と違う意見をすぐに否定せず、しっかり話を聞いて理解する | 128 |
| 学校行事ではない、地域での活動（清掃活動や祭りなど）に参加して手伝う | 80 |



問4. これまでに、あなたが学校で学んだり、活動したりした環境に関する授業や行事の中で、楽しかったことや思い出深いことは何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

最も多くが選択したのは「稲作学習」でした。「湧水の学習」「ジオパーク学習」「川の学習」も印象に残っている子どもが多いようです。

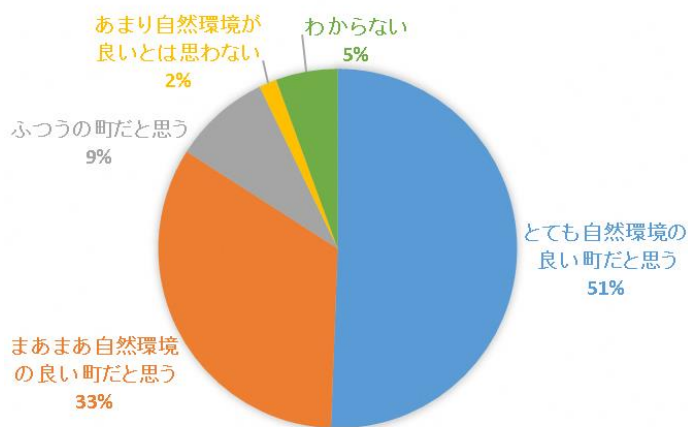
| | |
|------------------|-----|
| 川の学習（ざっこしめやごみ拾い） | 107 |
| 松の学習（植林や樹幹注入） | 65 |
| 海岸清掃 | 60 |
| 森の学習（森探検） | 68 |
| 鮭の学習 | 75 |
| 稲作学習 | 148 |
| 湧水の学習 | 120 |
| 伝統野菜の栽培 | 24 |
| ジオパーク学習 | 113 |
| その他 | 7 |



問5. あなたは遊佐町の自然環境についてどう思いますか。

最も多くが選択したのは「とても自然環境の良い町だと思う」であり、「まあまあ自然環境の良い町だと思う」とあわせると84%が町の自然環境に高い評価をしていることが分かります。

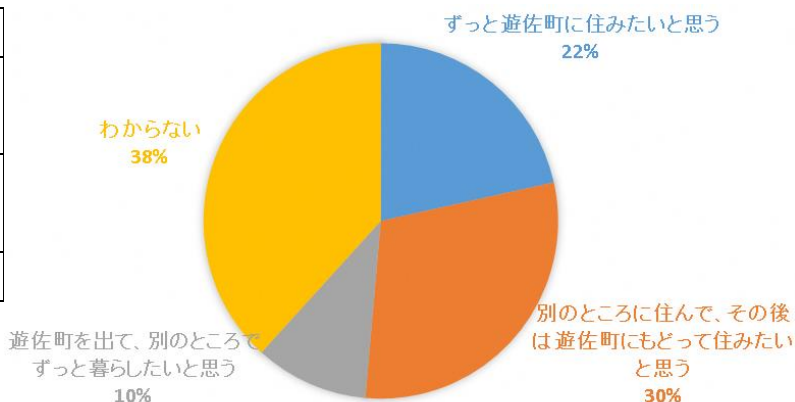
| | |
|------------------|-----|
| とても自然環境の良い町だと思う | 127 |
| まあまあ自然環境の良い町だと思う | 84 |
| ふつうの町だと思う | 22 |
| あまり自然環境が良いとは思わない | 4 |
| 自然環境が悪いと思う | 0 |
| わからない | 14 |



問6. 大人になっても、遊佐町に住みたいと思いますか。

最も多くが選択したのは「別のところに住んで、その後は遊佐町にもどって住みたいと思う」であり、次いで「ずっと遊佐町に住みたいと思う」でした。これらを合わせると、約半数の子どもが大人になっても遊佐町に住みたい意向を有していることが分かります。

| | |
|-------------------------------|----|
| ずっと遊佐町に住みたいと思う | 54 |
| 別のところに住んで、その後は遊佐町にもどって住みたいと思う | 75 |
| 遊佐町を出て、別のところでずっと暮らしたいと思う | 26 |
| わからない | 96 |



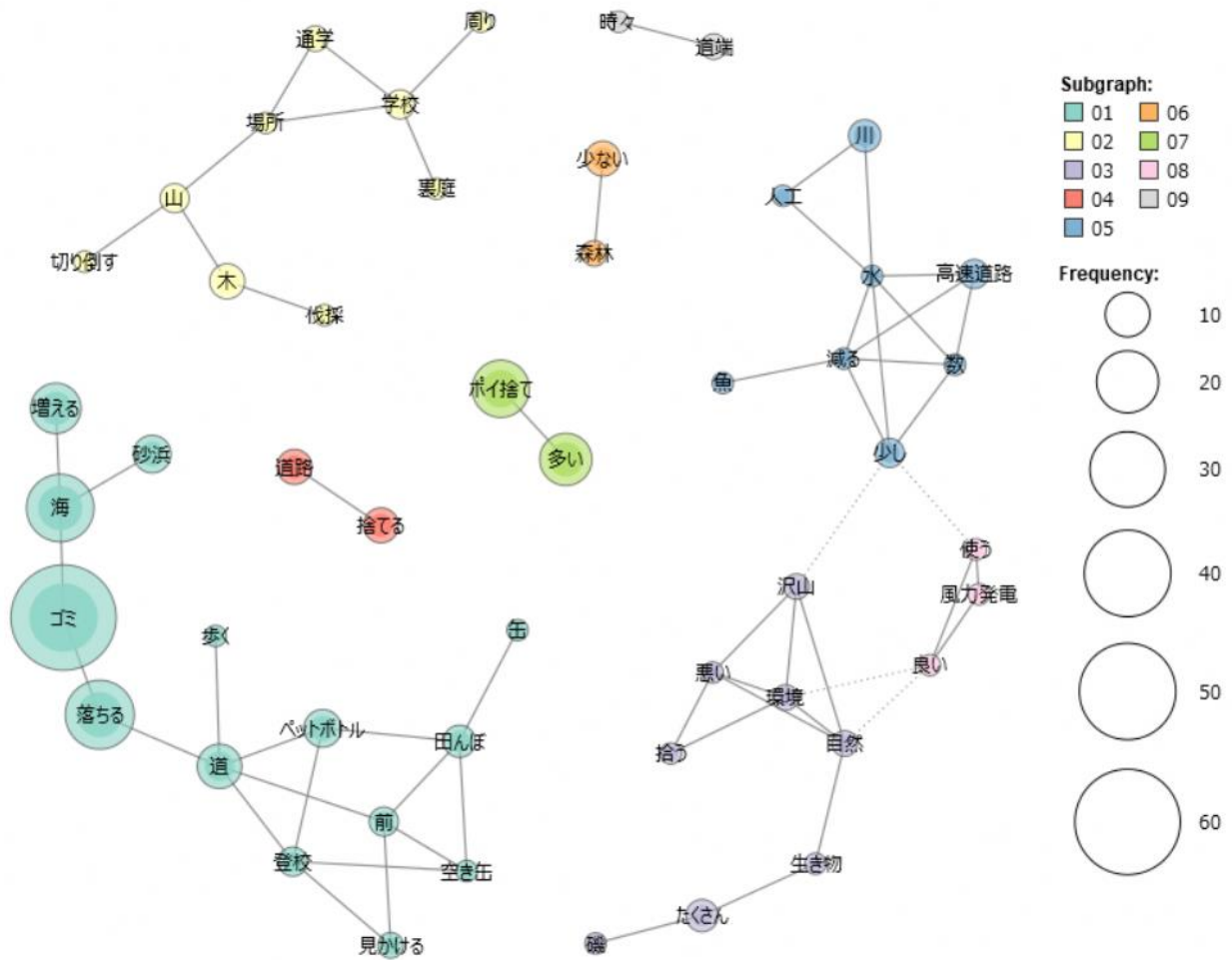
問7. 以前より自然環境が悪くなっていると思ったことはありますか。それは、どんなこと（または場所）ですか。

テキストマイニングツール（KH Coder）を利用して、記入された内容に含まれる場所（語）の共起構造（一緒に使われている語の関係）を可視化しました。

多くの言及があったのが「ゴミ」「海」「海岸」「道」「田んぼ」などのグループで、海岸にゴミが増えていること、道路沿いや田んぼへのポイ捨てを指摘する意見が多くありました。

「木」「伐採」「山」などのグループは、森林などの木が伐採され少なくなっていることに触れたものです。

その他、「高速道路（高速道路ができた）」、「風力発電（風力発電のために土地を使うのは良くない、洋上風力発電には反対）」などの意見がありました。

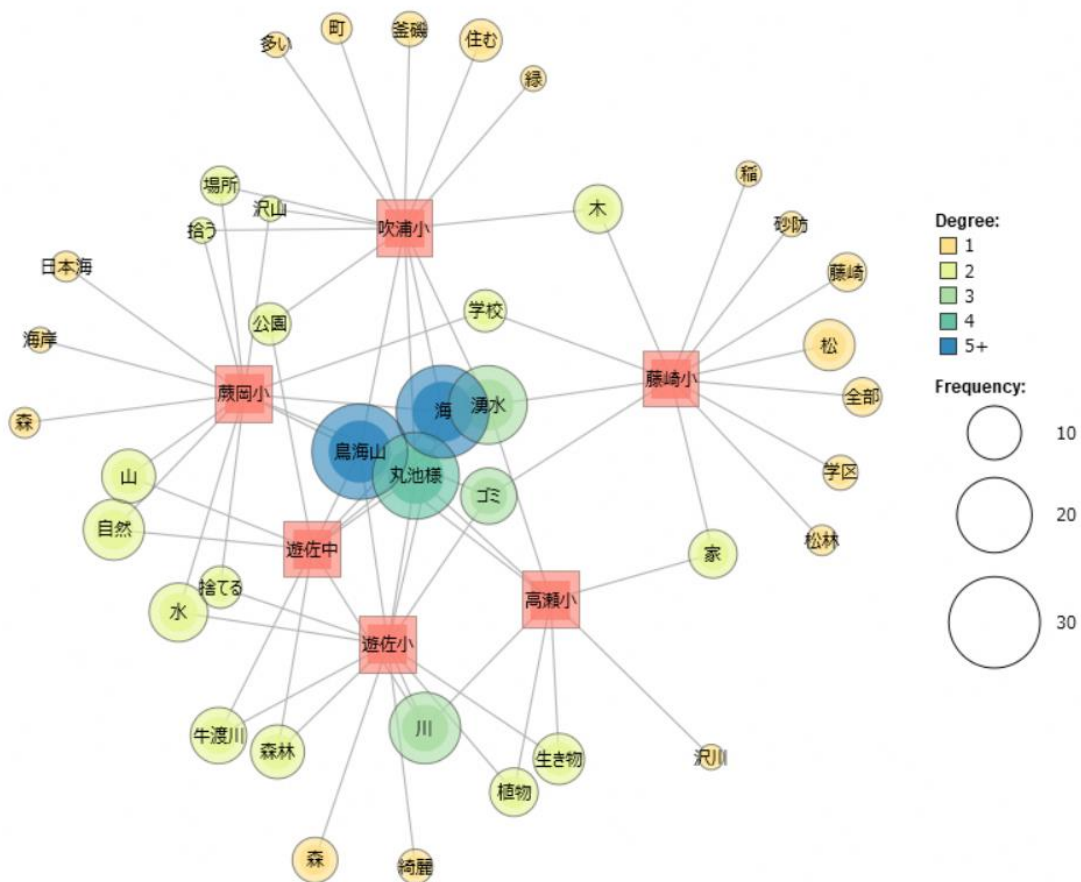
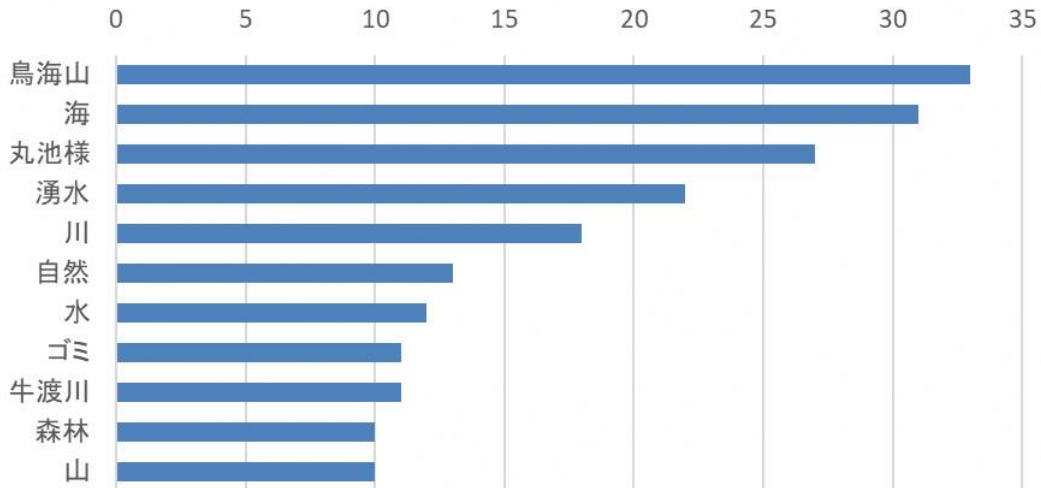


問8. 身のまわりの自然の中でこれからもあなたが大切にしたいと思うことや場所がありますか。

テキストマイニングツール (KH Coder) を利用して、記入された内容に含まれる場所 (語) を抽出してカウントし、上位 10 語をグラフ化しました。

最も多く記入されたのは「鳥海山」であり、次いで「海」「丸池様」「湧水 (湧き水)」でした。

学校ごとに記述内容を見ると、「鳥海山」「海」「丸池様」「湧水」はどの学校からも多くの記述がありました。「牛渡川」は遊佐小と遊佐中のみ、「釜磯」は吹浦小のみ、「松」「松林」は藤崎小のみと、地域特性や学習活動との関連がうかがえる語も挙がっていました。



問9. 遊佐町の環境について、あなたが感じていることがあれば、自由に書いてください。

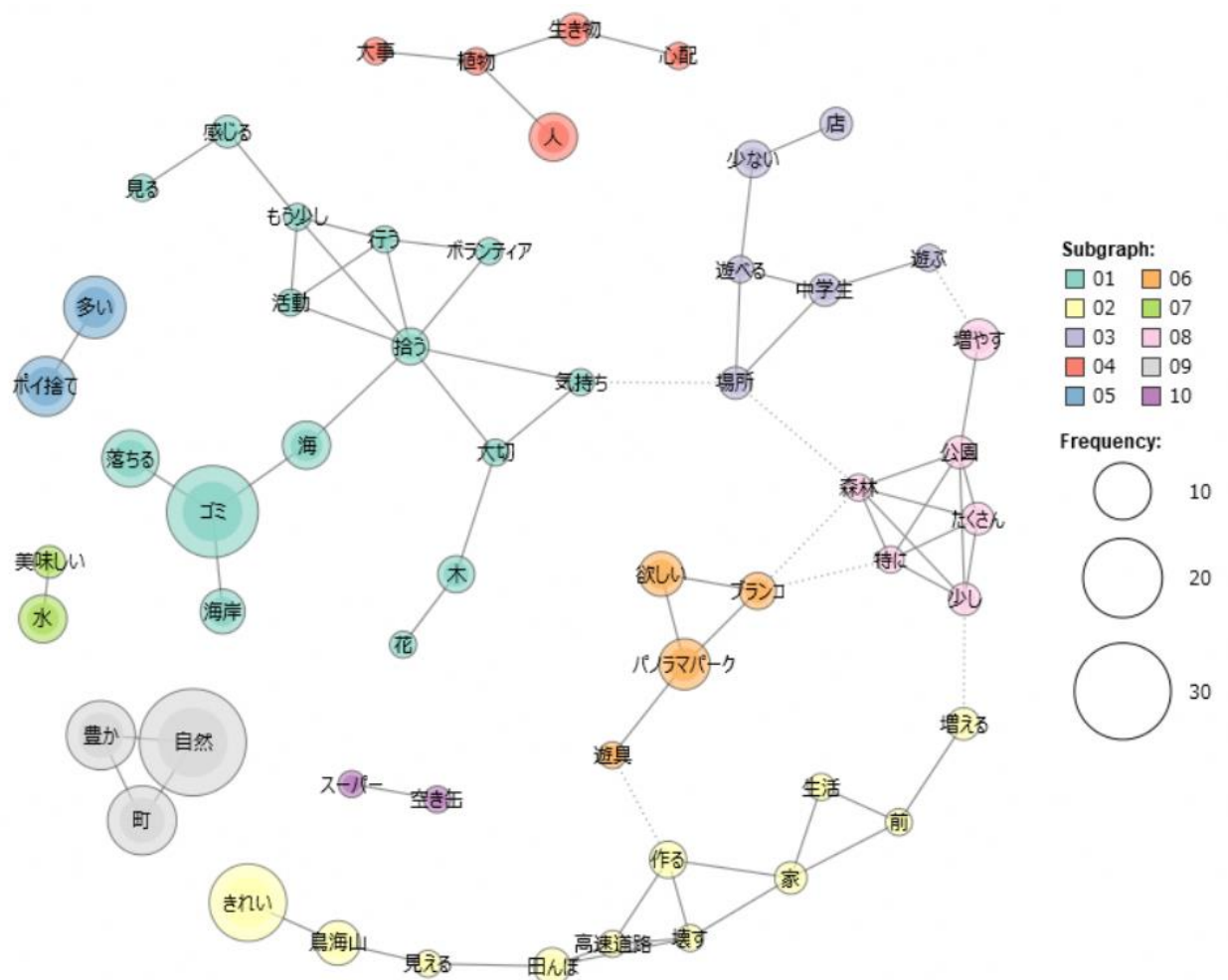
テキストマイニングツール (KH Coder) を利用して、記入された内容に含まれる場所 (語) の共起構造 (一緒に使われている語の関係) を可視化しました。

多くの記述があったのは「自然」「豊か」「町」のグループで、自然が豊かである状態に満足し、維持してほしいという意見が多くありました。

鳥海山がきれいに見える景色が良いとの意見 (「鳥海山」「きれい」等) や、水や米がおいしい、湧水がきれい (「水」「美味しい」) といった意見も多くありました。

一方で「ゴミ」「海」「海岸」や「ポイ捨て」「多い」のグループにあるように、海岸漂着ごみやポイ捨てへの問題意識も多く挙げられました。ごみの問題に関しては、ごみ拾いの活動を増やしたほうが良い、ボランティア活動に参加したいという意見も書かれていました。

また、中学生が遊べる場所が少ない (「中学生」「場所」等)、パノラマパークにブランコなどの遊具を増やしてほしい (「パノラマパーク」「ブランコ」等) など、子どもの過ごし方に関する意見も寄せられました。



用語解説一覧

【あ行】

- ・ 一般廃棄物
- ・ イバラトミヨ
- ・ エコアクションプラン
- ・ エコドライブ
- ・ エネルギー基本計画
- ・ エネルギーミックス
- ・ 温室効果ガス
- ・ 奥の細道鳥海ツーデーマーチ

【か行】

- ・ 海岸漂着物
- ・ 海洋プラスチック
- ・ 合併処理浄化槽
- ・ 環境基準
- ・ 環境推進員
- ・ 環境保全型農業（循環型農業）
- ・ 環境マネジメントシステム
- ・ カーボンニュートラル
- ・ 気候変動
- ・ 共存の森
- ・ グリーンカーテン
- ・ グリーン・ツーリズム
- ・ 公害
- ・ ごみ処理基本計画

【さ行】

- ・ 再生可能エネルギー（再エネ）
- ・ 里の名水・やまがた百選
- ・ サーキュラーエコノミー
- ・ ジオパーク
- ・ 循環型社会
- ・ 省エネルギー（省エネ）
- ・ 小中学校エコチャレンジ事業
- ・ 庄内地区不法投棄防止対策協議会
- ・ 新型コロナウイルス（COVID-19）
- ・ 水源涵養
- ・ 生物多様性

- ・ ゼロカーボンシティ宣言

【た行】

- ・ 脱炭素社会
- ・ 地域循環共生圏
- ・ 地球温暖化
- ・ 地産地消
- ・ 適応

【な行】

- ・ ネイチャーポジティブ

【は行】

- ・ バイオマス
- ・ ハッチョウトンボ
- ・ 不法投棄監視人
- ・ フードドライブ

【ま行】

- ・ 松くい虫
- ・ 水循環保全条例
- ・ モニタリング

【や行】

- ・ 遊佐パーキングエリアタウン

【ら行】

- ・ リサイクル

【アルファベット】

- ・ E S D
- ・ E V
- ・ L A S - E
- ・ O E C M
- ・ S D G s
- ・ Z E B

【数字】

- ・ 3 R + R e n e w a b l e (4 R)

【あ行】

・一般廃棄物

産業廃棄物以外の家庭などから発生するごみやし尿などの廃棄物をいう。一般廃棄物の処理は、市町村長が処理計画を定めて実施する。

・イバラトミヨ

トゲウオ目トゲウオ科トミヨ属に属する淡水魚で、成魚で体長は 5、6cm 前後。氷河時代からの生き残りといわれ、年間を通して水温が 10~15°C前後で安定した清らかな沼や川にしか住むことができない。繁殖期になると水草を用いてゴルフボール状の巣をつくり、子どもが卵からふ化、巣立つまでの育児を行うのが特徴。本県の東根市、天童市に生息しているイバラトミヨ特殊型は、イバラトミヨの中で最も古く分化した種であり、世界でも稀少な淡水魚と言われている。

・エコアクションプラン

遊佐町におけるエコオフィスプラン、環境物品等の調達に関する基本方針、温室効果ガス排出抑制実行計画をまとめた計画。

●エコオフィスプラン（率先実行計画）

町が行う事務事業において、環境負荷の低減を図るとともに、事務所としての町が率先して実行することにより、町民及び事業者の環境配慮行動を促進することを目的に策定された計画。

●環境物品等の調達の推進に関する基本方針

「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」第 10 条により、地方公共団体は環境物品等の調達を図るための方針を作成し、それに基づいて調達を推進するよう努力義務が課せられている。これに基づき、遊佐町版として策定した、調達に関する基本方針。

●温室効果ガス排出抑制実行計画

「地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）」第 20 条の 3 により、市町村にも策定が義務付けられている、温室効果ガスの排出量を公表すると共に、排出抑制に向けた目標・取り組みをまとめた実行計画。

・エコドライブ

自動車からの排出ガスを抑制し、燃費を向上させるため、自動車の運転時に、加速・減速をゆるやかにすること、エアコンを控えめにすること、不用な荷物を積まないことなどをいう。警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省からなるエコドライブ普及連絡会を発足させ、アクションプランやエコドライブ 10 のすすめの策定などを行っている。

・エネルギー基本計画

遊佐町新総合発展計画における町の将来像「安心とぬくもり 生きる喜び しあわせ空間 ゆぎの創造」のもとに、町民すべての生活に不可欠な「エネルギー」の方向から施策の展開を図るための基本理念と、それを実現するための施策の展開。現計画の計画年度は、H26~R5 年度となっており、R5 年度中に次期計画を策定予定。

・エネルギーミックス

火力、原子力、再生可能エネルギーなど、様々な方法を組み合わせて発電すること。また、その構成割合のこと。それぞれの発電方法には、長所と短所があるため、1つのエネルギーに依存することは大きなリスクとなる。社会情勢や環境情勢に応じて、安定した電気供給ができるように、発電方法別の電気の構成比を考えていく必要がある。

・温室効果ガス

地球温暖化の原因となる温室効果を持つ気体のことで、略称はGHG (Greenhouse Gas)。「地球温暖化対策推進法」では、二酸化炭素 (CO₂)、メタン (CH₄)、一酸化二窒素 (N₂O)、代替フロン等3ガス [ハイドロフルオロカーボン (HFC)、パーフルオロカーボン (PFC)、六フッ化硫黄 (SF₆)] の6つの温室効果ガスを対象とした措置を規定している。

・奥の細道 鳥海ツーデーマーチ

遊佐町、日本ウォーキング協会らが主催する、遊佐町の自然を楽しみながら、仲間との交流と健康づくりを進めるウォーキングフェスティバル。日本マーチングリーグ (JML) を始めとした様々なウォーキング団体の公式大会に認定されている。イベントは毎年、9月の第一土曜・日曜の2日間 (Two day) に開催されており、当日は県内外から多くのウォーカーが遊佐町を来訪する。

【か行】

・海岸漂着物

海流、潮流、風、波などによって海辺に打ち上げられた漂着物のこと。

・海洋プラスチック (問題)

海洋を漂うプラスチックごみのこと。海洋に流れ出るプラスチックは、年間約800万トンと言われており、また、その分解されにくく長持ちする性質から、長期間海洋に残り続ける。この海洋プラスチックを海の生き物が食べ、さらにそれを人間が食べることで、海の生態系を破壊するだけではなく、周りめぐって人体にも影響があるのではないかと問題視されている。

・合併処理浄化槽

し尿と台所、風呂、洗濯など生活雑排水を合わせて処理する浄化槽で、公共下水道と同等の処理能力を有している。このため、し尿のみを処理する単独処理浄化槽を設置している家庭にくらべ、排出される汚れの量は8分の1に削減されるため、生活排水浄化対策の有効な手段であり、今後の普及が望まれている。

・環境基準

大気汚染、水質汚濁、土壌汚染及び騒音に係る環境上の条件で、人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として、環境基本法(1993)の第 16 条に基づき定められている基準。政府は、公害の防止に関する施策を総合的かつ有効適切に講ずることにより、環境基準の確保に努めなければならないとされている。なお、ダイオキシン類に関しては、ダイオキシン類対策特別措置法(1999)を根拠として、大気汚染、水質汚濁及び土壌汚染の環境基準が定められている。

・環境推進員

町が行う環境保全施策の円滑な運営を図るとともに、住民の環境への負荷低減思想の向上と地域の良好な生活環境の保全を図るため、原則各集落より 1 名が選任され活動している。集落のゴミステーションの管理や、町が行う環境イベントへの協力、集落で行う清掃活動の指揮等を行っている。

・環境保全型農業

生産性や品質の維持・向上を図りながら、土づくり等を通して、化学肥料・農薬の使用等による環境への負荷の低減に配慮した農業のこと。有機農法もその一つに位置づけされている。

・環境マネジメントシステム

事業者が自ら環境保全の取組みの効果と成果を自主的に評価し、その結果に基づいて新しい目標に取り組んでいこうという自立的なシステムのこと。代表的なものに、ISO14001、エコアクション 21 等がある。遊佐町では地方自治体における環境行動を評価する LAS-E(環境自治体スタンダード)に取り組んでいる。

・カーボンニュートラル

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの人為的な排出量から、植林、森林管理などによる吸収量を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。

・気候変動

気温および気象パターンの長期的な変化のこと。これらの変化は太陽周期の変化によるものなど、自然減少の場合もあるが、1800年代以降は人間の生産活動が気候変動を引き起こしていると考えられている。気候変動を引き起こす原因は、化石燃料(石炭、石油、ガスなど)の燃焼により発生する温室効果ガスであり、その排出量を抑止し、実質ゼロにする取り組み(カーボンニュートラル)が各国に求められている。

・共存の森

岩石採取跡地を町が買い上げ、「共存の森」と名付け、生活クラブ生協・遊佐町民共同による水源涵養林として育成・保全活動に取り組んでいる。森林の再生を図ると同時に、学生や町民の林業体験の場として活用している。

・グリーンカーテン

つるのある植物を建物の窓際等に植え、カーテンのように日光を遮り室温の上昇を抑える。省エネルギー、ヒートアイランド現象の緩和のほか、環境教育等の効果がある。

・グリーン・ツーリズム

農山漁村地域に滞在し、その地域の自然や文化、地域の人々との交流を楽しむ余暇活動のこと。旅行者自身の楽しみだけでなく、都市と農山漁村の交流や、地域振興を図ることを目指している。

・公害

環境基本法第2条第3項で定義されている。事業活動その他の人の活動に伴って相当範囲にわたる大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下及び悪臭（以上を典型7公害という。）という現象をとりあげ、これらによって人の健康又は生活環境に係る被害が生ずることと定義している。

・ごみ処理基本計画

平成12年「循環型社会形成推進基本法」が制定され、天然資源の消費を抑制し、環境への負担ができる限り低減される、形成すべき「循環型社会」の姿が明確に提示された。

そうした国の動向を踏まえて、中期的視点のもとにごみ処理に対する基本的な方針・目標・施策等を定め、豊かな自然環境の保全と、快適な住居環境づくりを目的に、町の計画的なごみ処理の推進を図り、ごみの排出の抑制及びごみの発生から最終処分に至るまでの、ごみの適正な処理を進めるために必要な基本的事項を定めている。

【さ行】

・再生可能エネルギー（再エネ）

有限で枯渇の危険性を有する石油・石炭などの化石燃料や原子力と対比して、自然環境の中で繰り返し起こる現象から取り出すエネルギーの総称。具体的には、太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス(持続可能な範囲で利用する場合)、地熱、波力、温度差などを利用した自然エネルギーと、廃棄物の焼却熱利用・発電などのリサイクルエネルギーをいう。

これに対し、いわゆる新エネルギーは、太陽光や太陽熱、風力、中小水力、バイオマス等をいい、再生可能エネルギーのうち大規模水力や空気熱、地中熱等は除かれる。

・里の名水・やまがた百選

県内における優れた湧水等を広く県内外に紹介し、活用と保全を図っていくために、山形県が認定している。「良好な水質と水量を有すること」、「地域住民等による保全活動が行われていること」に加え、親水性と利活用、自然景観などの項目を設け、高い評価を得た湧水の中から選定している。遊佐町内から、「胴腹滝」、「丸池様」など12か所が選定（令和3年度末現在）されている。

・サーキュラーエコノミー

循環経済。従来の3Rに加え、資源の投入量・消費量を極力抑え、製品や素材を長く流通させることで、廃棄をせず資源を使い切るような経済モデルのこと。ごみを出さないように製品・サービスを設計すること、消費された後には再資源化することを前提としている。例えば、自動車はカーシェアリングで利用することで生産量（資源の投入量）を減らし、メンテナンスして長く使う、使用後はパーツごとに資源化し次の製品や別の製品の原料とする、といった流れなどが考えられる。

・ジオパーク

地質学的に重要な地点や景観で、保護・教育・持続可能な開発が一体となった概念によって管理されたエリアのこと。「鳥海山・飛島ジオパーク」が2016年9月に日本ジオパークに認定されている。

・循環型社会

製品等が廃棄物等となることが抑制され、並びに製品等が循環資源となった場合においてはこれについて適正に循環的な利用が行われることが促進され、及び循環的な利用が行われない循環資源については適正な処分が確保され、もって天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会。従来の「大量生産・大量消費、大量廃棄型社会」に代わり、今後目指すべき社会像として、2000年に制定された「循環型社会形成推進基本法」で定義された。同法は循環型社会を構築する方法として、(1)ごみを出さない、(2)出たごみはできるだけ利用する、(3)どうしても利用できないごみはきちんと処分するの3つを提示している。

・省エネルギー（省エネ）

同じ社会的・経済的効果をより少ないエネルギーで得られるようにすること。エネルギー供給量の最小化を図ることであり、そのためにはエネルギー需要量を最小化するか、エネルギーの変換効率や搬送効率を向上させるなどのアプローチがある。

・小中学校エコチャレンジ事業

町内小中学校における省エネ推進の取組みの一環。学校活動における省エネや環境保全の取組みを評価し、一定の成果が認められた場合、教育活動に活用できる報奨金を支払う活動。

・庄内地区不法投棄防止対策協議会

廃棄物の不法投棄防止対策の推進を目的とし、庄内総合支庁、各市町、(一社)山形県産業資源循環協会、地区衛生組織、県建設業協会、警察署等で構成される組織。事務局は庄内総合支庁環境課。主に、廃棄物不法投棄防止の啓発、監視活動、調査、原状回復作業等の活動を行っている。

・新型コロナウイルス（COVID-19）

ウイルス性感染症の一種。2019年中国武漢市で発見され、全世界に感染拡大した。

・水源涵養

降雨を地表や地中に一時的に蓄えるとともに、地下に浸透させ、降雨が河川などに直接流入するのを調節し、下流における水質源の保全や洪水の防止、地下水の涵養等を維持・増進する自然の働きのこと。

・生物多様性

もとは一つの細胞から出発したといわれる生物が進化し、今日では様々な姿・形、生活様式をみせている。このような生物の間に見られる変異性を総合的に指す概念であり、現在の生物がみせる空間的な広がりや変化のみならず、生命の進化・絶滅という時間軸上のダイナミックな変化を包含する幅広い概念。一般には、

- ・様々な生物の相互作用から構成される様々な生態系の存在＝生態系の多様性
- ・様々な生物種が存在する＝種の多様性
- ・種は同じでも、持っている遺伝子が異なる＝遺伝子的多様性

という3つの階層で多様性を捉え、それぞれ保全が必要とされている。

・ゼロカーボンシティ宣言

地方自治体による2050年に二酸化炭素（温室効果ガス）排出量を実質ゼロにすることを目指すという宣言。

【た行】

・脱炭素社会

カーボンニュートラルを実現した社会のこと。2018年のIPCCの1.5℃特別報告書によれば、産業革命以降の気温上昇幅を1.5℃以内に抑えるためには、地球全体で2050年までにカーボンニュートラルを実現しなければならないことが明らかになっている。

・地域循環共生圏

エネルギーや食を地産地消しながら、地域の中で資源が循環する「自立・分散型」の社会を作り、地域同士が互いに資源を補完しながら支え合うという考え方。都市部と農山漁村部はそれぞれが独立した社会を構成しながら、それぞれに足りないもの（都市部は食料・水・自然エネルギーなど、農山漁村は、資金・人材など）を補い合う。

・地球温暖化

地球規模の環境問題の一つで、二酸化炭素などにより地球の気温が上昇してしまう現象をいう。地球の表面は、太陽からの日光を受け止めて暖まり、その熱を大気中に逃している。この熱は、大気を通過し、宇宙空間へ出ていくことから熱の均衡がとれ、地表の温度は一定に保たれているが、大気中の二酸化炭素はこの熱を吸収してしまう効果がある。このまま二酸化炭素が増加すると、21世紀までには平均気温が現在より約2℃上昇すると予測されており、急激な温度上昇は、異常気象・海面上昇等のさまざまな異変を引き起こすと言われている。

・地産地消

「地域生産、地域消費」の略語。地域で生産された農林水産物等をその地域で消費することを意味する概念。近年では、食品に対する安全・安心志向の高まりや食料輸送等による環境負荷の軽減（フードマイレージの低減）などの面で注目され、伝統的な農産物や食文化の復権といった意味合いで用いられる場合もある。

・適応

地球温暖化の影響による変化への対応策のこと。人間社会のシステムにおいて、地球温暖化による被害を緩和したり、回避したり、有益な機会を活かそうとすること。地球温暖化の影響を抑えるには、温室効果ガスの排出を抑える等による「緩和」が最も重要な対策であるが、最大限努力を行っても、既に排出されたものがある以上、ある程度の気候変動は避けることができない。気候変動による悪影響を最小限に抑えるために「適応」は不可欠であると考えられている。

適応策の例： 熱中症予防に水分を細かくとる。

災害に備えて食料の備蓄をしておく。

高温でも育つ品種を開発する。 など

【な行】

・ネイチャーポジティブ

生物多様性の毀損に歯止めをかけ、自然をプラスに増やしていくこと。その考え。

【は行】

・バイオマス

木材、下水汚泥、生ごみなどの生物資源を原料としたエネルギー資源及び工業原料などの総称で、平成14年1月、新たに「新エネルギー」として位置づけられた。バイオマスを燃焼して発生する二酸化炭素は植物の成長過程で取り入れられたものであり、大気中の二酸化炭素の増減には影響を与えないという「カーボンニュートラル」の特性を有し、地球温暖化対策上も注目されている。平成14年12月には、「バイオマス・ニッポン総合戦略」が策定され、政府として本格的な利活用に積極的に取り組むこととされた。

・ハッチョウトンボ

日本一小さなトンボとして知られており、世界的にも最小の部類に属するトンボ。遊佐町においては、町の天然記念物に指定しており、その生息地は保全のために立ち入りを制限している。

・不法投棄監視人

環境推進員の中から町内6地区ごと各1名選出（遊佐地区のみ2名）。各地区内を定期的に巡回し、不法投棄ごみ情報の提供やパトロール活動を行っている。

・フードドライブ

家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている地域の団体・施設等に寄付する活動のこと。回収した食品は福祉施設やこども食堂、生活困窮者支援団体などに寄付する。公共施設や企業・店頭などに回収拠点を設けたり、イベントとあわせて単発で実施したりすることがある。食品ロス削減と福祉対策を両立する取組として、全国で活動が広がっている。

【ま行】

・松くい虫

マツ属を中心としたマツ科樹木に発生する感染症である「マツ材線虫病」を引き起こす原因となる「線虫類」を運ぶ虫のこと。マツノマダラカミキリ（体調 3cm ほど）という昆虫のことをさしている。

・水循環保全条例

「遊佐町の健全な水循環を保全するための条例」の通称。町内の健全な水循環の保全を図るため、必要な施策の基本となる事項並びに土地の利用、地下水の利用及び良好な水質の確保に関する事項について定め、健全な水循環の保全に関する施策を総合的に推進し、もって現在及び将来の町民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的として、平成 25（2013）年 6 月に制定された。

・モニタリング

監視・追跡のために行う観測や調査のこと。継続監視とも言われる。大気質や水質の継続観測や植生の経年的調査などが代表例。気候変動などによる生物構成種の推移、人間活動による生物への影響などを長期間にわたり調査することや、環境変化を受けやすい代表的な生物など特定の生物種（指標種）を、毎回同じ調査手法で、長期にわたり調査して、その変化を把握するのもモニタリングの一つである。

【や行】

・遊佐パーキングエリアタウン

令和 8（2026）年度、日本海沿岸自動車道の秋田県・山形県県境区間の開通に合わせ、町が整備を進めている新しい「道の駅」。通称 P A T（パット）。高速道路における S A 的な位置づけの施設であるが、単に S A ではなく、そこを起点に町が発展していくよう計画している。再生可能エネルギー活用による防災拠点としての役割も担う。

【ら行】

・リサイクル

環境汚染の防止、省資源・省エネルギーの推進、廃棄物の発生を抑制するため、資源として活用できる廃棄物を活用すること。

【アルファベット】

• ESD (Education for Sustainable Development)

イー・エス・ディー／Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育)。持続可能な社会づくりを担う人材を育てるための教育。現代社会の様々な問題を自分ごととして捉え、身近なところから取り組むことで、価値観や行動を変えることを目指した教育・学習活動のこと。

• EV (Electric Vehicle)

電気自動車の略。またはそれに関連する技術。

• LAS-E

環境自治体スタンダードの略。環境自治体会議環境政策研究所が開発した環境マネジメントシステム。環境施策の取組み成果を住民から選ばれた監査員がチェックし管理するしくみとなっている。行政機関のみならず住民や事業者が行う活動も対象としている。遊佐町では平成 19 (2007) 年度から導入している。

• OECM (Other Effective area based Conservation Measures)

オー・イー・シー・エム／Other effective area-based conservation measures (その他の効果的な地域をベースとする手段)。国立公園などの保護地区ではない地域のうち、生物多様性を効果的にかつ長期的に保全しうる地域のことを指す。例えば、集落で管理する里地里山、企業の森、社寺林など、必ずしも自然を守ることを主目的にしていなくても適切に人の手が入ることで生物多様性が保全されているエリアのこと。

• SDGs (Sustainable Development Goals)

「持続可能な開発目標」の略。国連の常設・補助機関のひとつである国連開発計画(UNDP)が重点活動に掲げるもので、2015年9月、国連での持続可能な開発サミットで、193か国によって採択され、2016年1月からスタートした。

先進国、発展途上国を問わず、地球上の国際目標に取り組もうというもの。2030年までに、「貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを享受できることを目指す普遍的な行動を呼びかける」としている。UNDPは、日本を含む加盟国・地域での活動を通じて、SDGsの達成を目指している。

• ZEB (Net Zero Energy Building)

ゼブ／Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)。エネルギー消費効率の高い建物や設備によって省エネルギーを図り、太陽光発電などでエネルギーを創ることで、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支を実質ゼロにする建物のこと。住宅の場合はZEH(ゼッチ／Net Zero Energy House)と言う。

【数字】

・3R+Renewable (4R)

スリーアール・プラス・リニューアブル。3 Rは Reduce (リデュース：発生抑制)、Reuse (リユース：再使用)、Recycle (リサイクル：再生利用) という廃棄物削減・資源循環の優先順位を表す言葉。これに再生素材や再生可能な資源 (紙やバイオマスプラスチック等) に代替することを意味する「Renewable」を加えた用語であり、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の基本原則となっている。